

支部評議会議長との意見交換について

(秋田支部、鳥取支部、大分支部)

秋田支部資料	……	P 3
鳥取支部資料	……	P 17
大分支部資料	……	P 37

第66回 運営委員会出席支部評議会議長

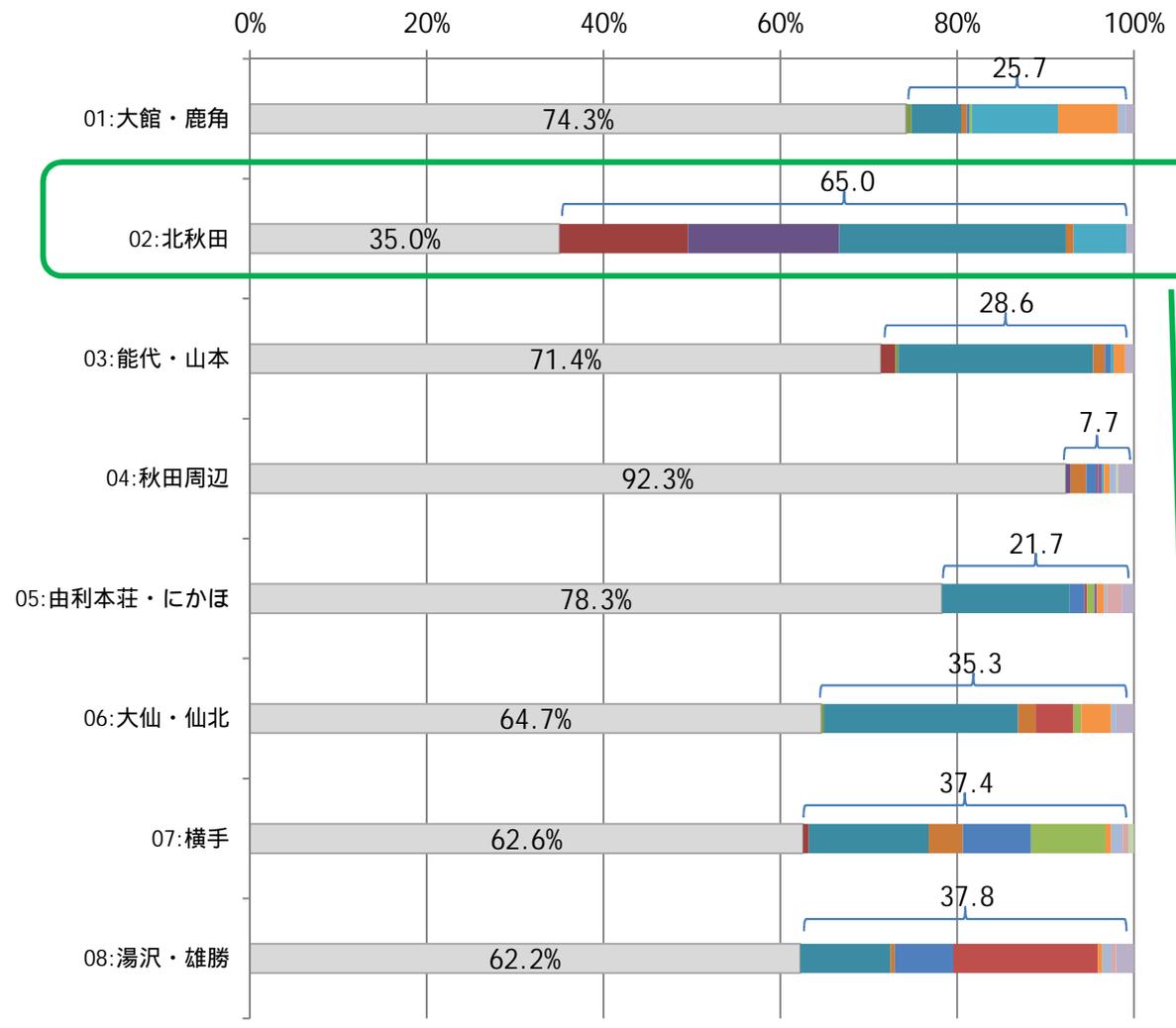
支 部 名	氏 名		肩 書
秋 田	三浦 亮	みうら あきら	秋田大学 名誉教授 元秋田大学長 社会福祉法人 敬仁会 理事長
鳥 取	山田 修平	やまだ しゅうへい	学校法人 藤田学院 鳥取短期大学 理事長兼学長
大 分	高橋 勉	たかはし つとむ	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会会長

秋田支部

地域医療構想策定に係る分析資料

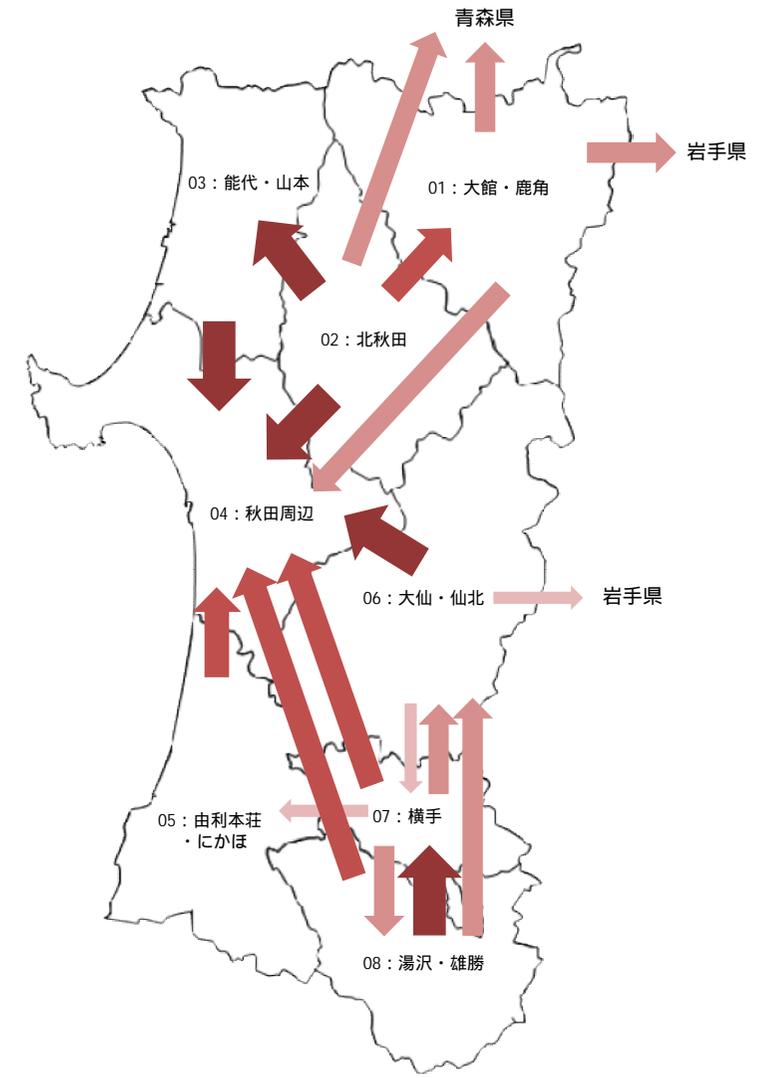
二次医療圏別 患者流出割合（入院）

患者住所地



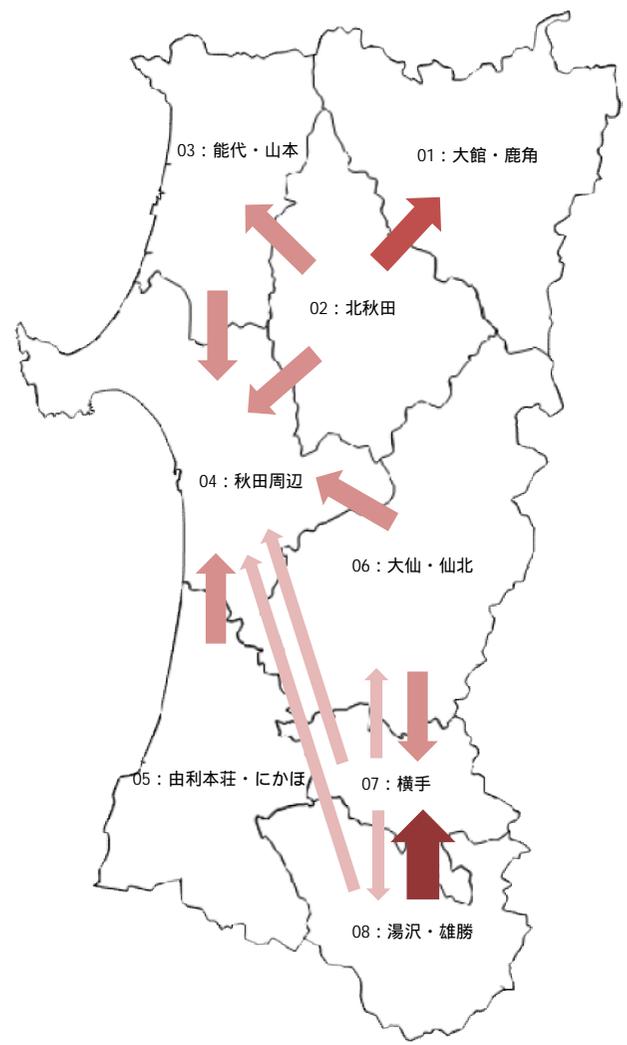
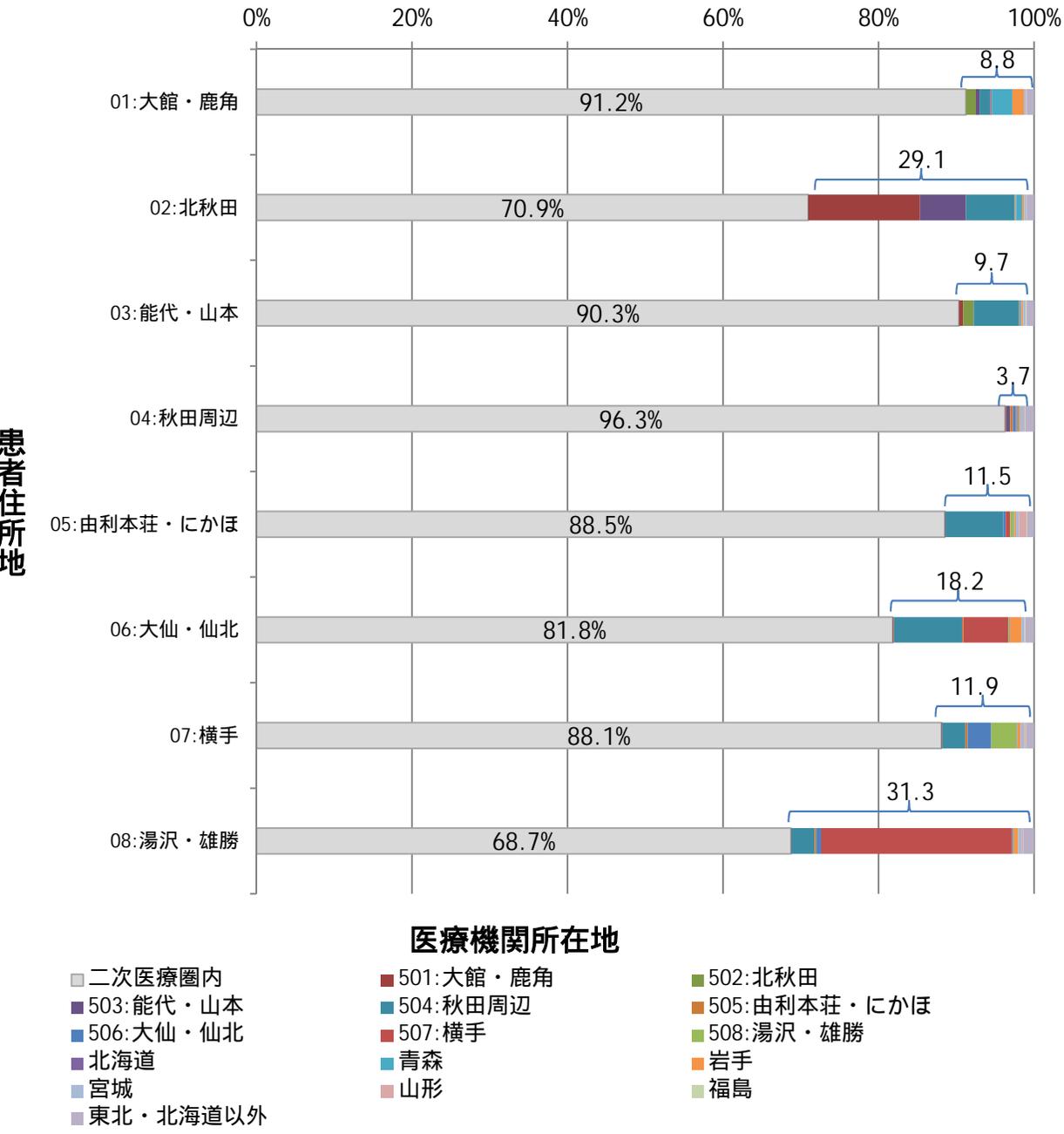
医療機関所在地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

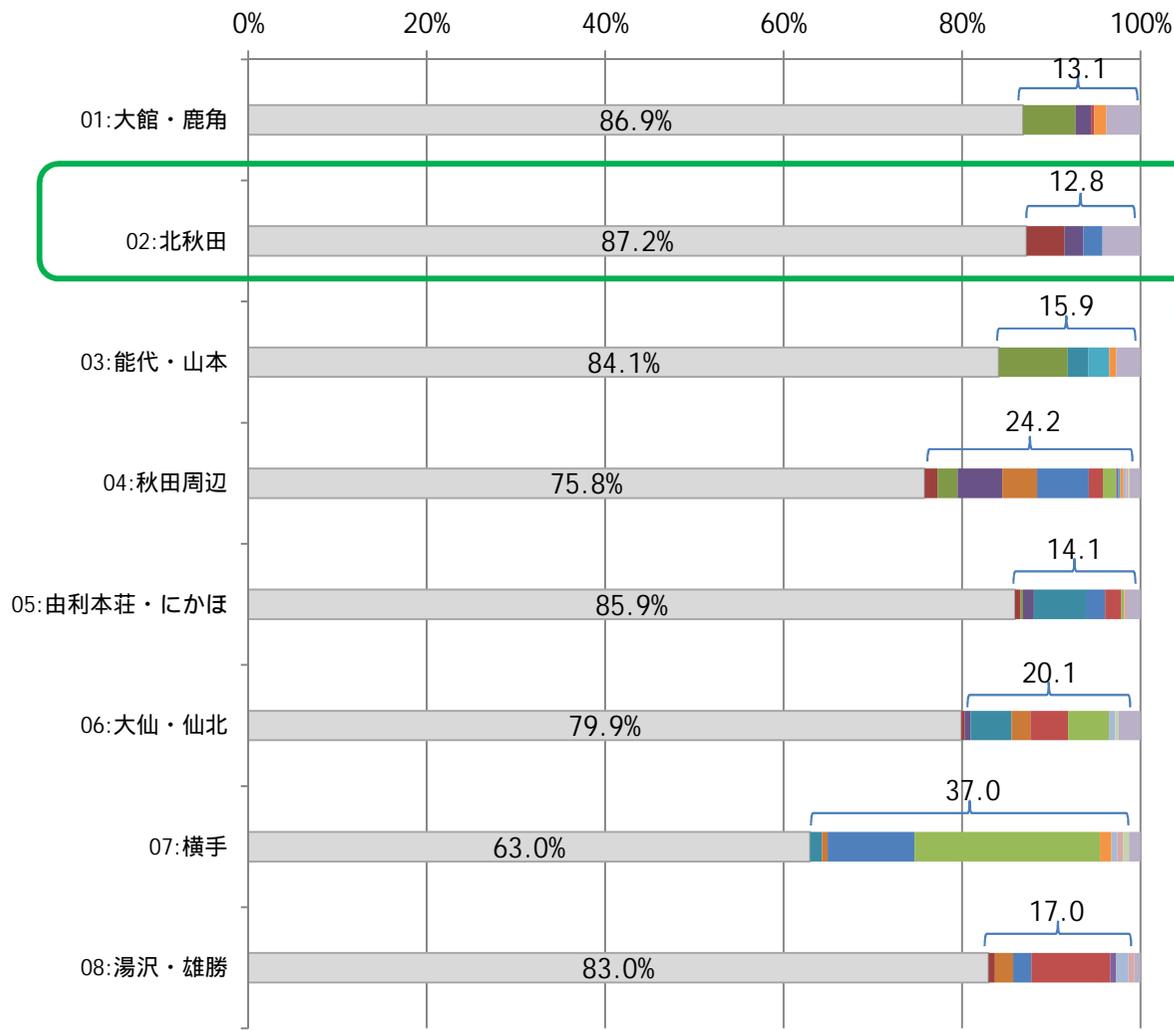


データの読み方
 その地域に居住している加入者が、どの地域の医療機関を受診しているか。
 「35%が自圏内で受診、65%は大館鹿角、能代山本、秋田周辺などの他圏内に流出して受診している」
 右地図は流出割合を矢印化したもの

二次医療圏別 患者流出割合（入院外）



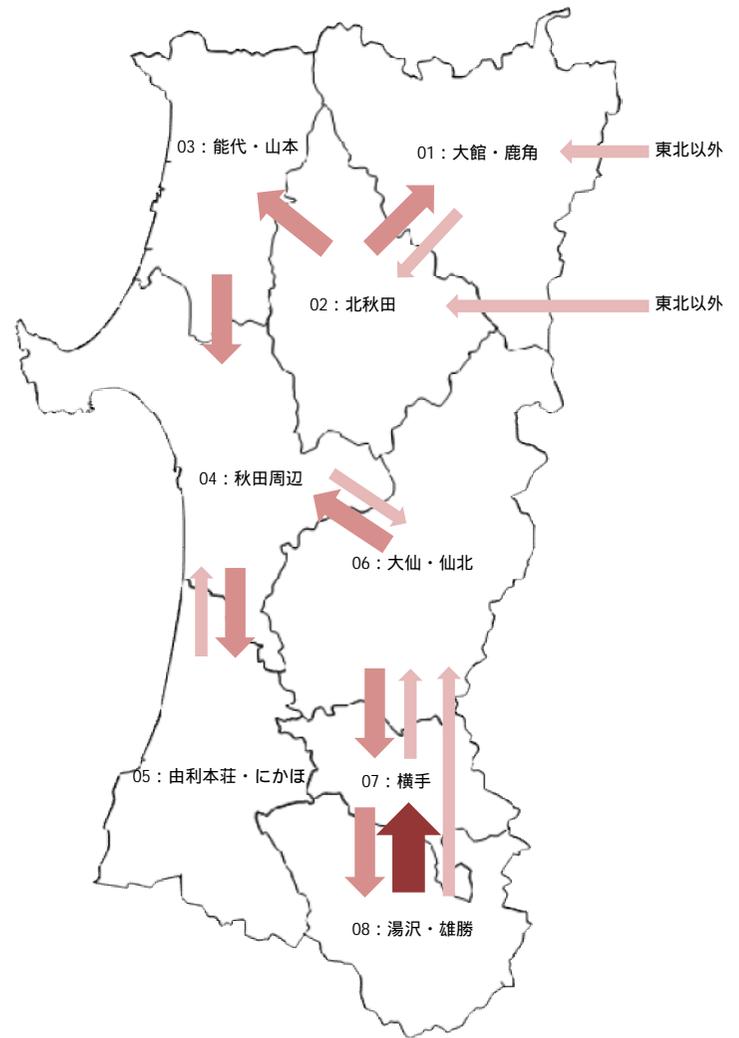
二次医療圏別 患者流入割合（入院）



医療機関所在地

患者住所地

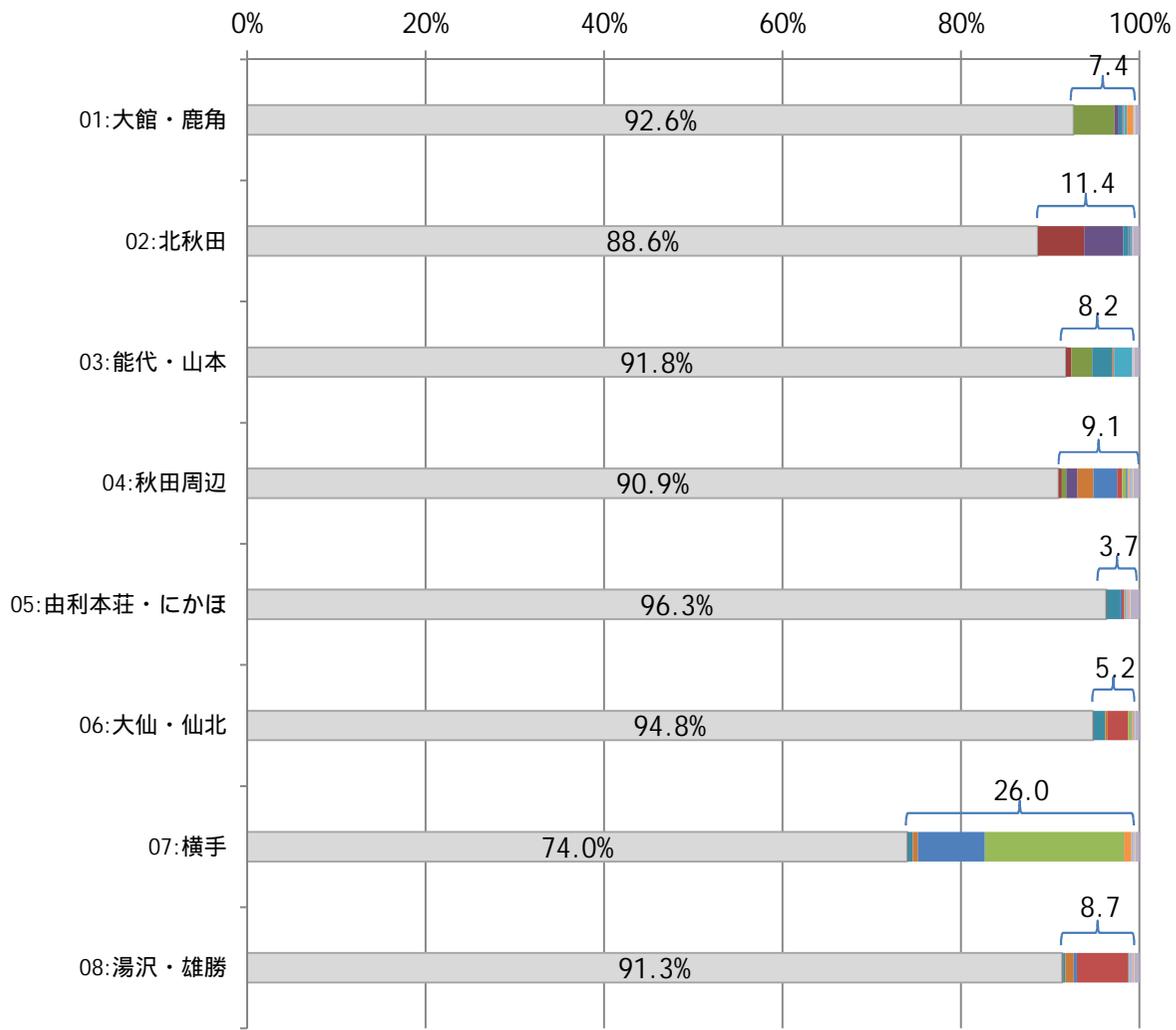
- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 岩手
- 福島
- 宮城
- 青森
- 山形
- 東北・北海道以外



データの読み方
 その地域に所在地がある医療機関に、どの地域に住んでいる加入者が受診しているか。
 「87.2%が自圏内で受診、12.8%は他圏内から患者が流入している」
 右地図は流入割合を矢印化したもの

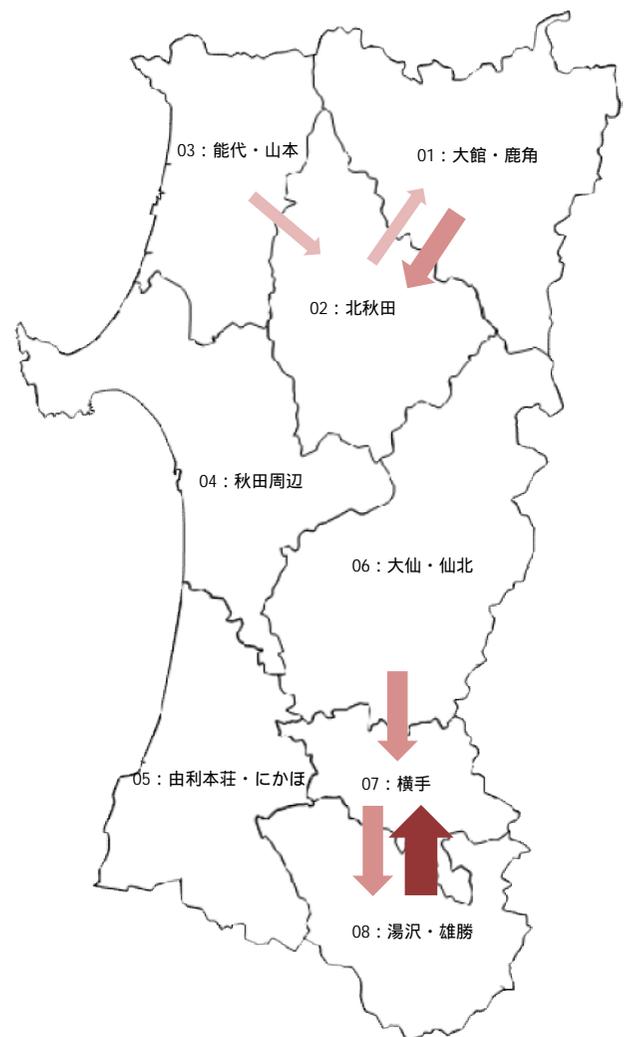
二次医療圏別 患者流入割合（入院外）

医療機関所在地



患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外



二次医療圏別 疾病別_受診と受入件数の比較（入院）

悪性新生物_受診（患者）
悪性新生物_受入（医療機関）
虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）_受診（患者）
虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）_受入（医療機関）
糖尿病_受診（患者）
糖尿病_受入（医療機関）

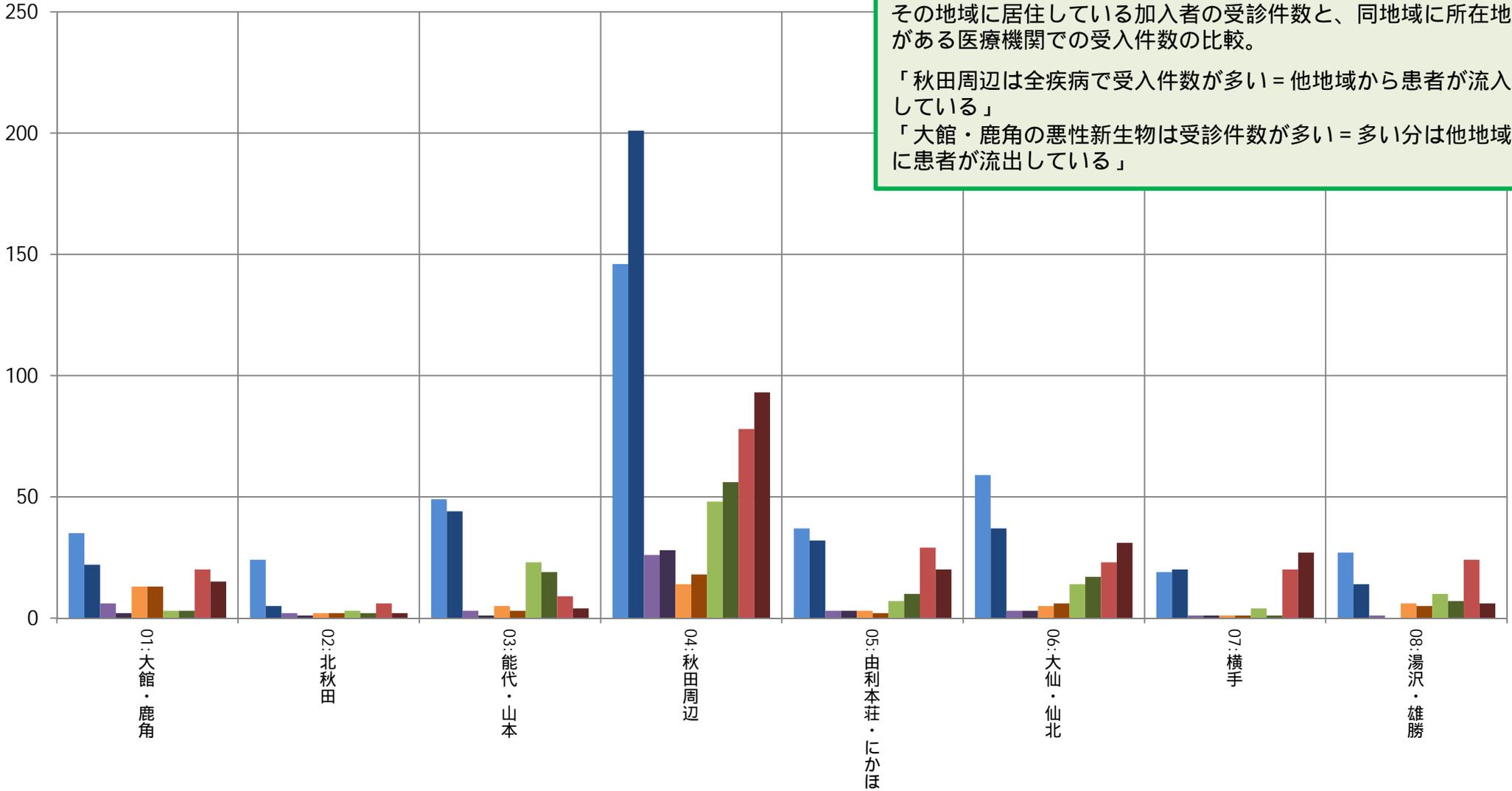
脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）_受診（患者）
脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）_受入（医療機関）
精神疾患_受診（患者）
精神疾患_受入（医療機関）

データの読み方

その地域に居住している加入者の受診件数と、同地域に所在地がある医療機関での受入件数の比較。

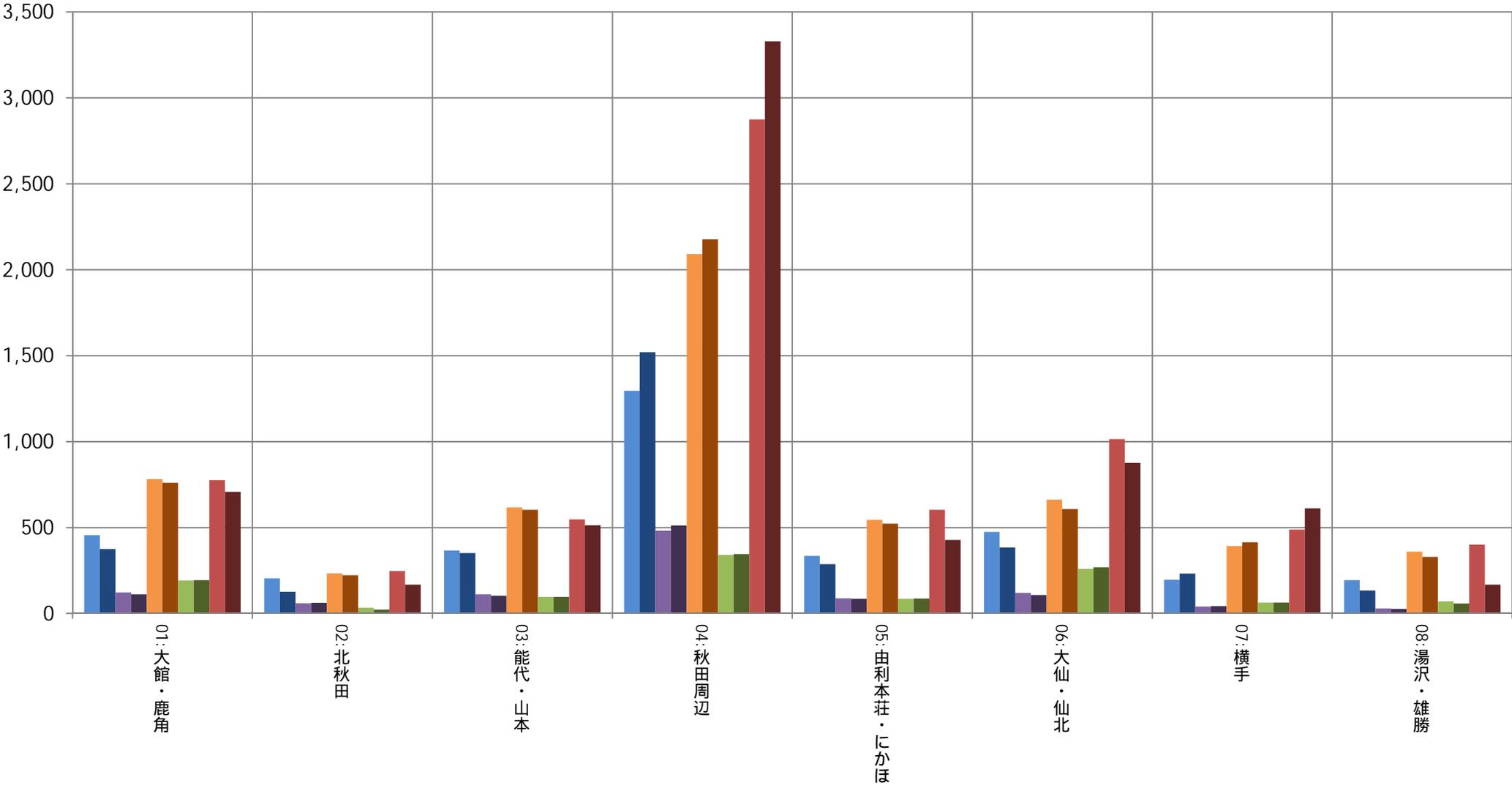
「秋田周辺は全疾病で受入件数が多い = 他地域から患者が流入している」

「大館・鹿角の悪性新生物は受診件数が多い = 多い分は他地域に患者が流出している」



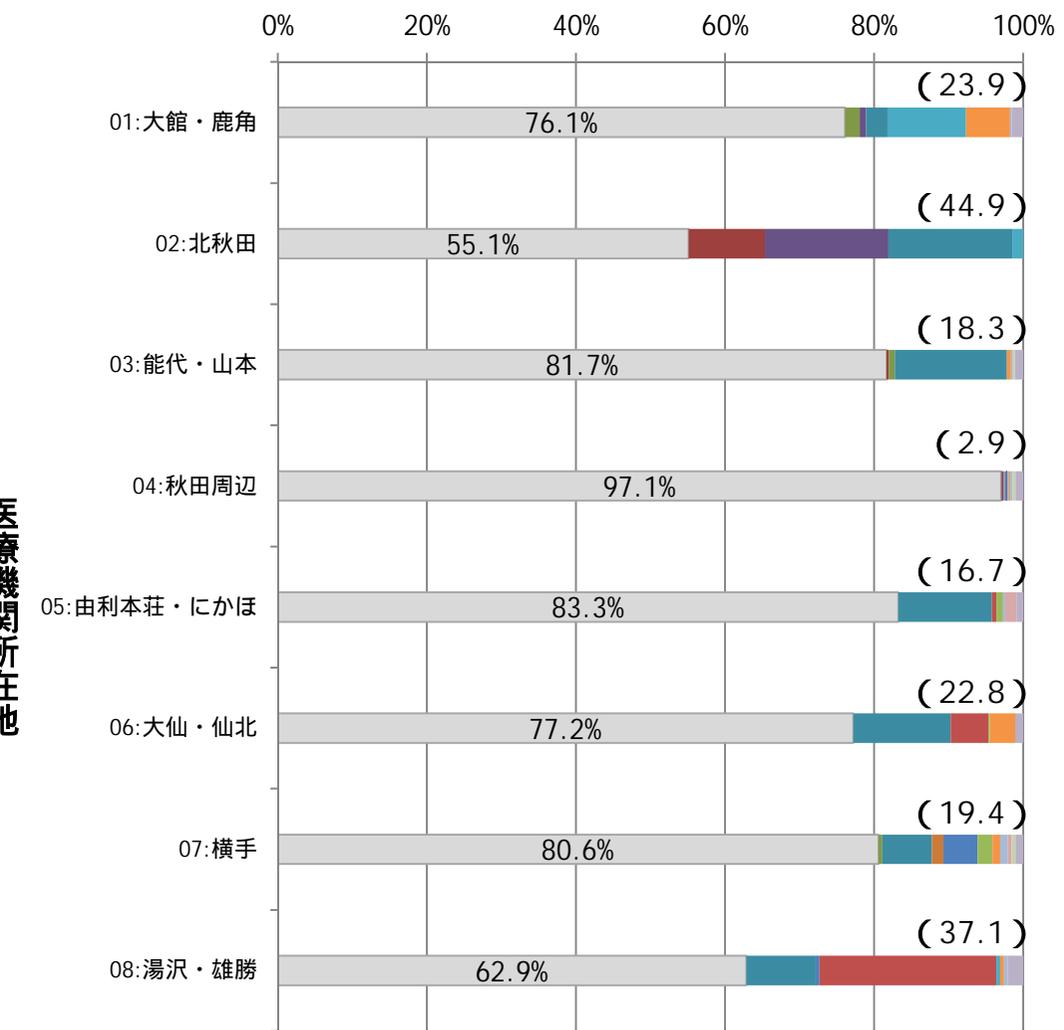
二次医療圏別 疾病別_受診と受入件数の比較（入院外）

悪性新生物_受診（患者）	脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）_受診（患者）
悪性新生物_受入（医療機関）	脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）_受入（医療機関）
虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）_受診（患者）	精神疾患_受診（患者）
虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）_受入（医療機関）	精神疾患_受入（医療機関）
糖尿病_受診（患者）	
糖尿病_受入（医療機関）	



二次医療圏別、疾病別 患者流出割合（入院外）

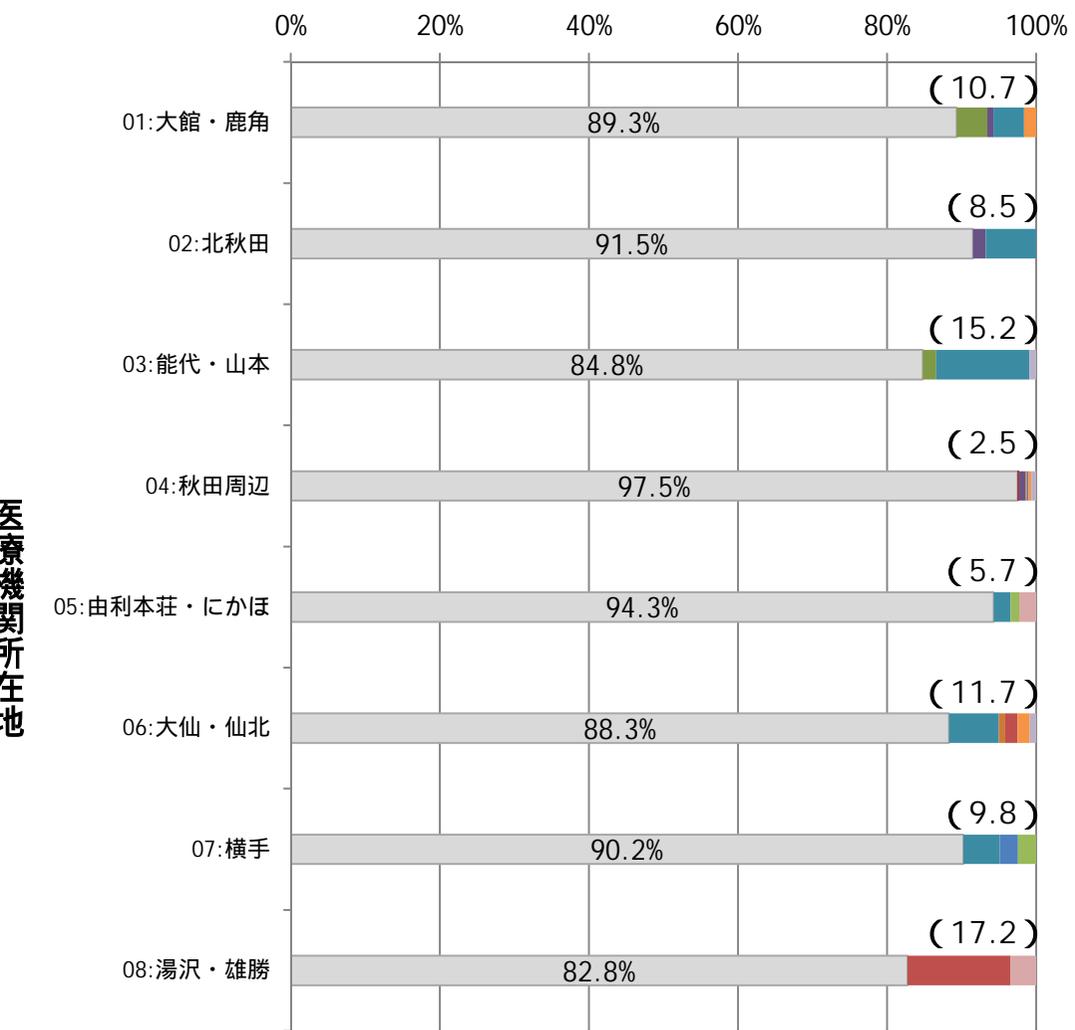
悪性新生物



患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 岩手
- 福島
- 宮城
- 山形
- 東北・北海道以外

虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）

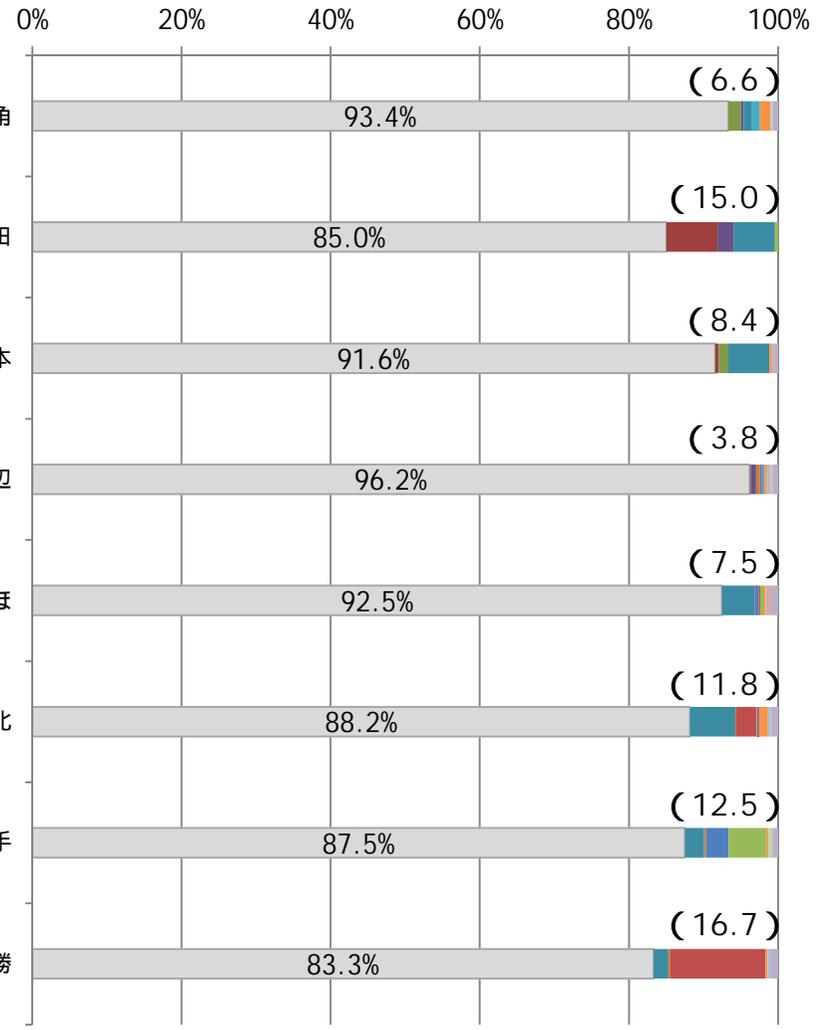


患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 岩手
- 福島
- 宮城
- 山形
- 東北・北海道以外

二次医療圏別、疾病別 患者流出割合（入院外）

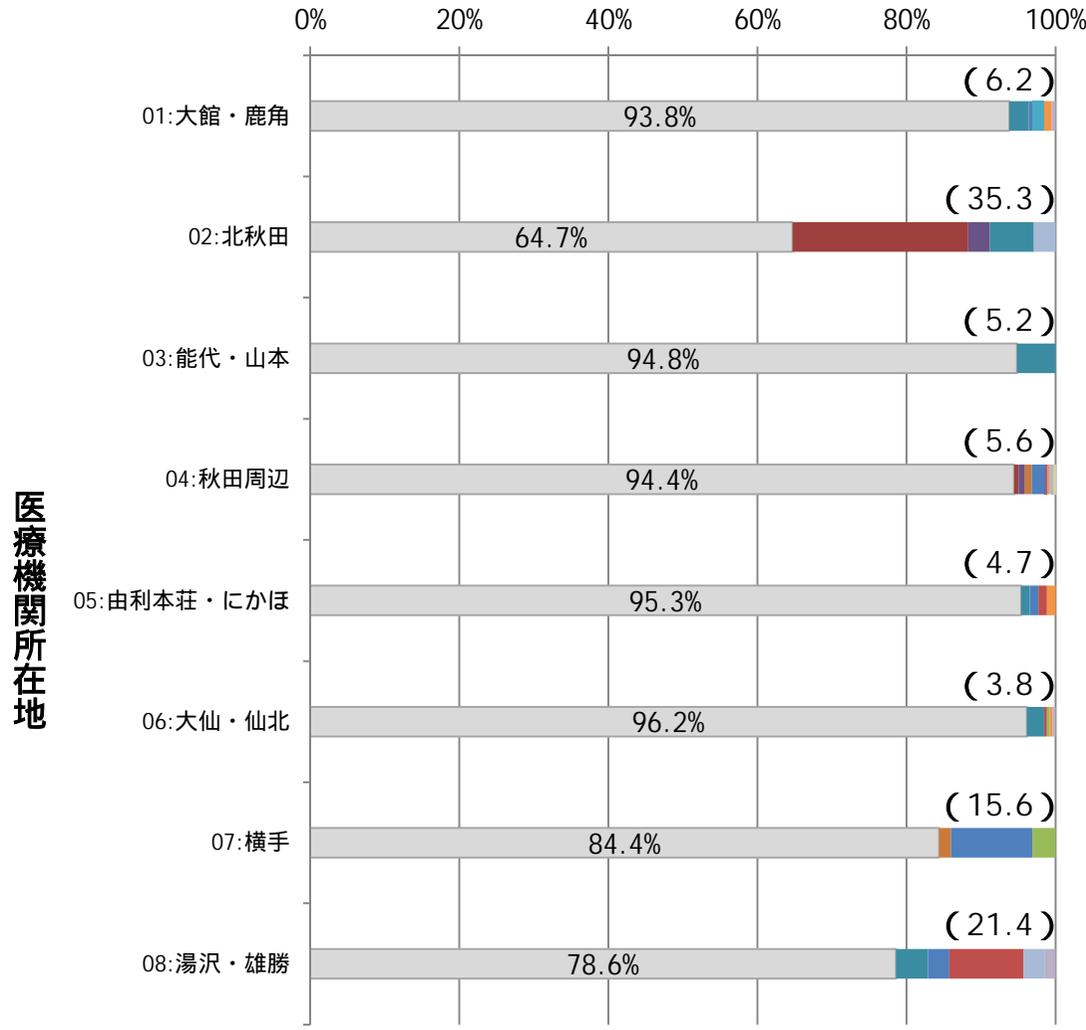
糖尿病



患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）



医療機関所在地

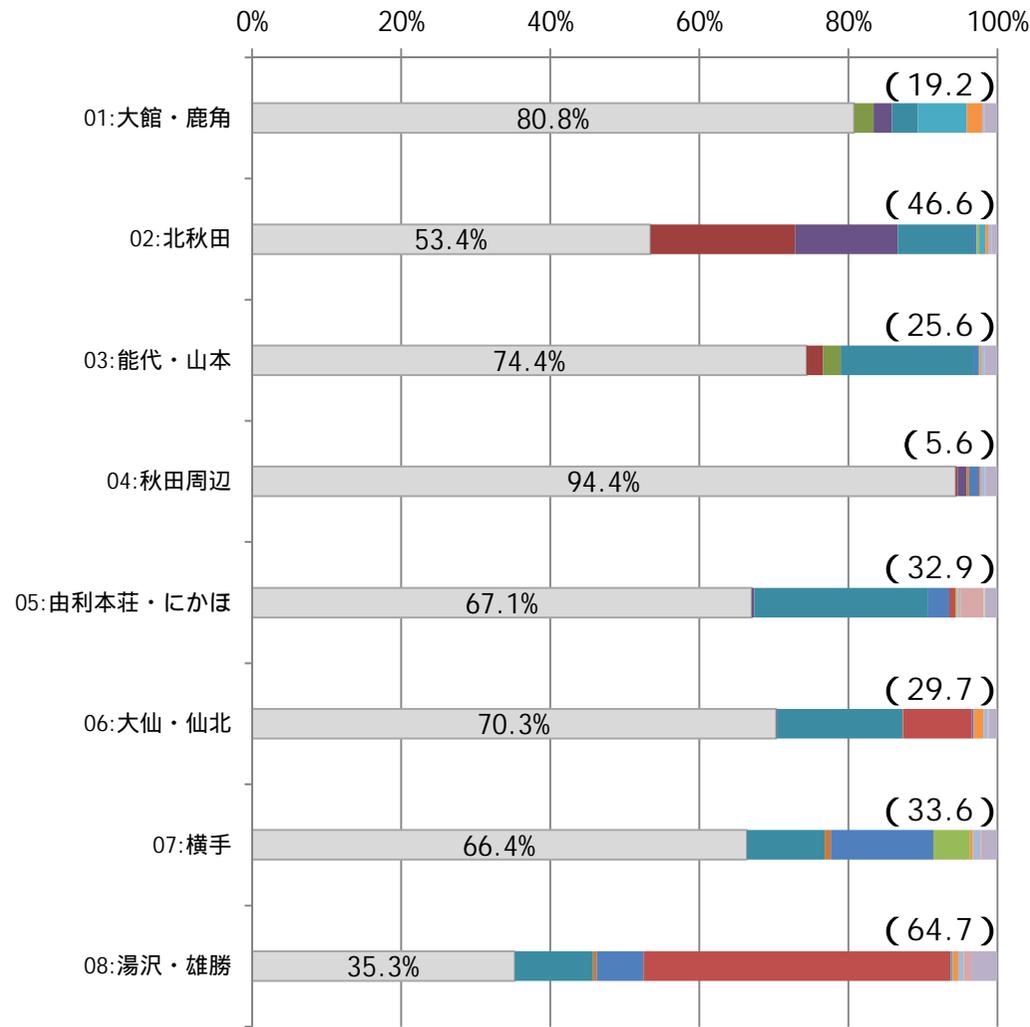
患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

二次医療圏別、疾病別 患者流出割合（入院外）

精神疾患

医療機関所在地

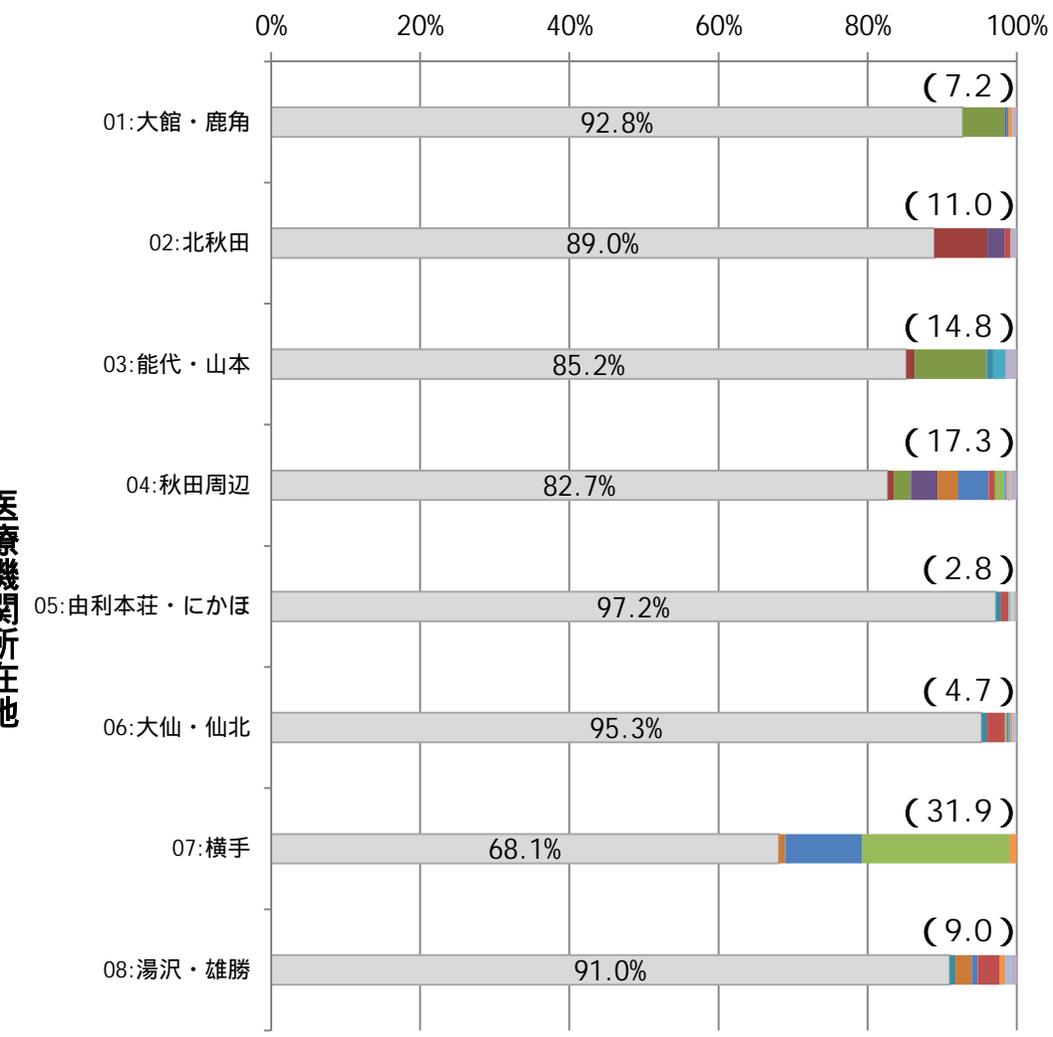


患者住所地

- 二次医療圏内
- 501:大館・鹿角
- 502:北秋田
- 503:能代・山本
- 504:秋田周辺
- 505:由利本荘・にかほ
- 506:大仙・仙北
- 507:横手
- 508:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

二次医療圏別、疾病別 患者流入割合（入院外）

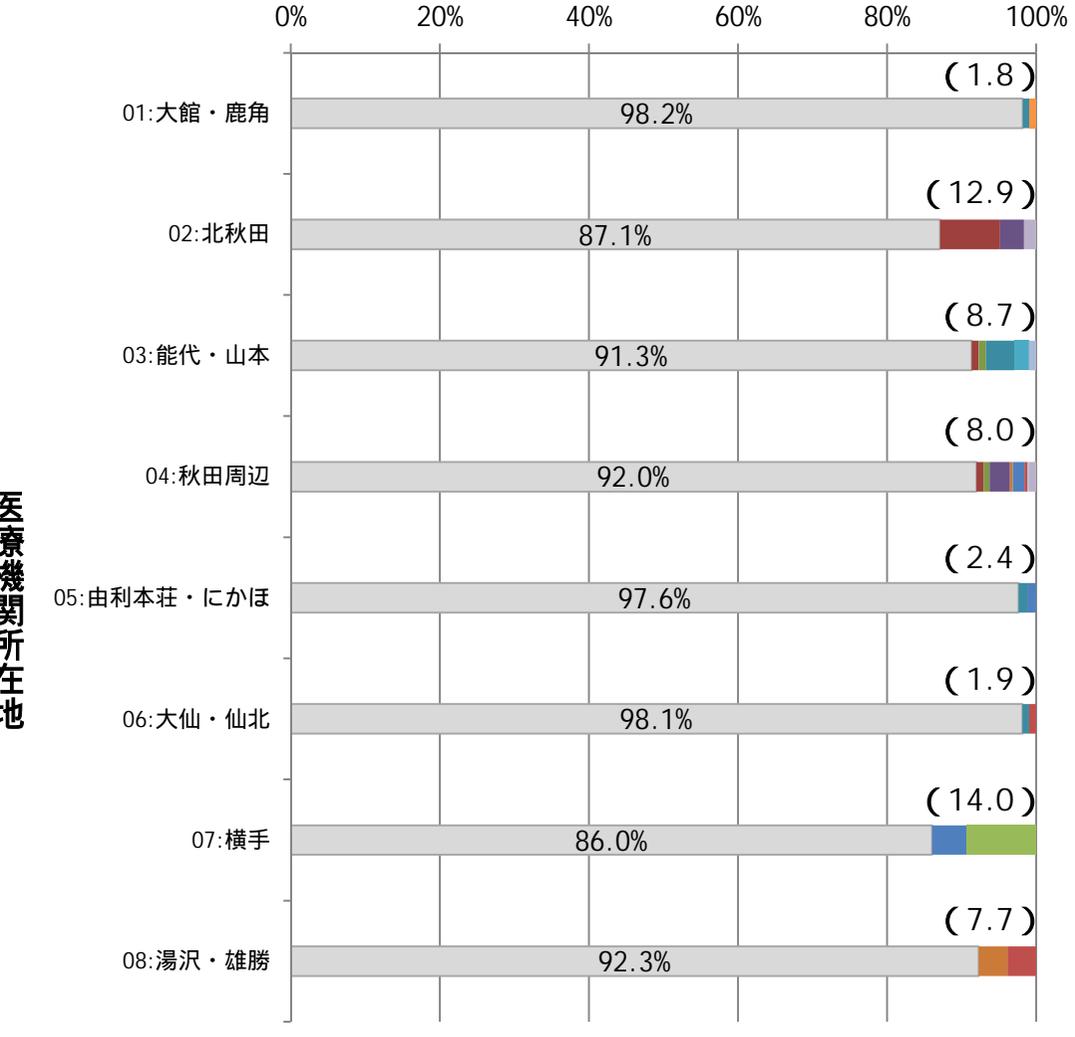
悪性新生物



患者住所地

- 二次医療圏内
- 01:大館・鹿角
- 02:北秋田
- 03:能代・山本
- 04:秋田周辺
- 05:由利本荘・にかほ
- 06:大仙・仙北
- 07:横手
- 08:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

虚血性心疾患（急性心筋梗塞含む）



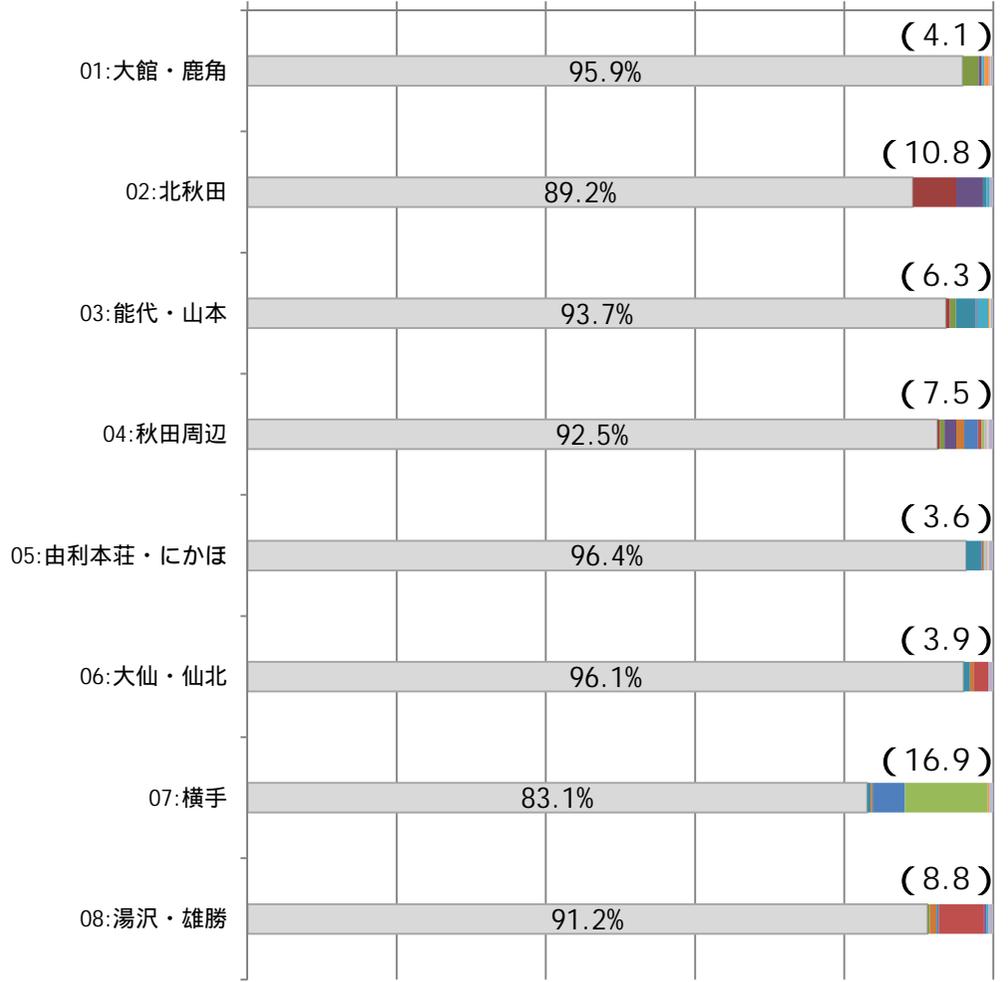
患者住所地

- 二次医療圏内
- 01:大館・鹿角
- 02:北秋田
- 03:能代・山本
- 04:秋田周辺
- 05:由利本荘・にかほ
- 06:大仙・仙北
- 07:横手
- 08:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

二次医療圏別、疾病別 患者流入割合（入院外）

糖尿病

0% 20% 40% 60% 80% 100%

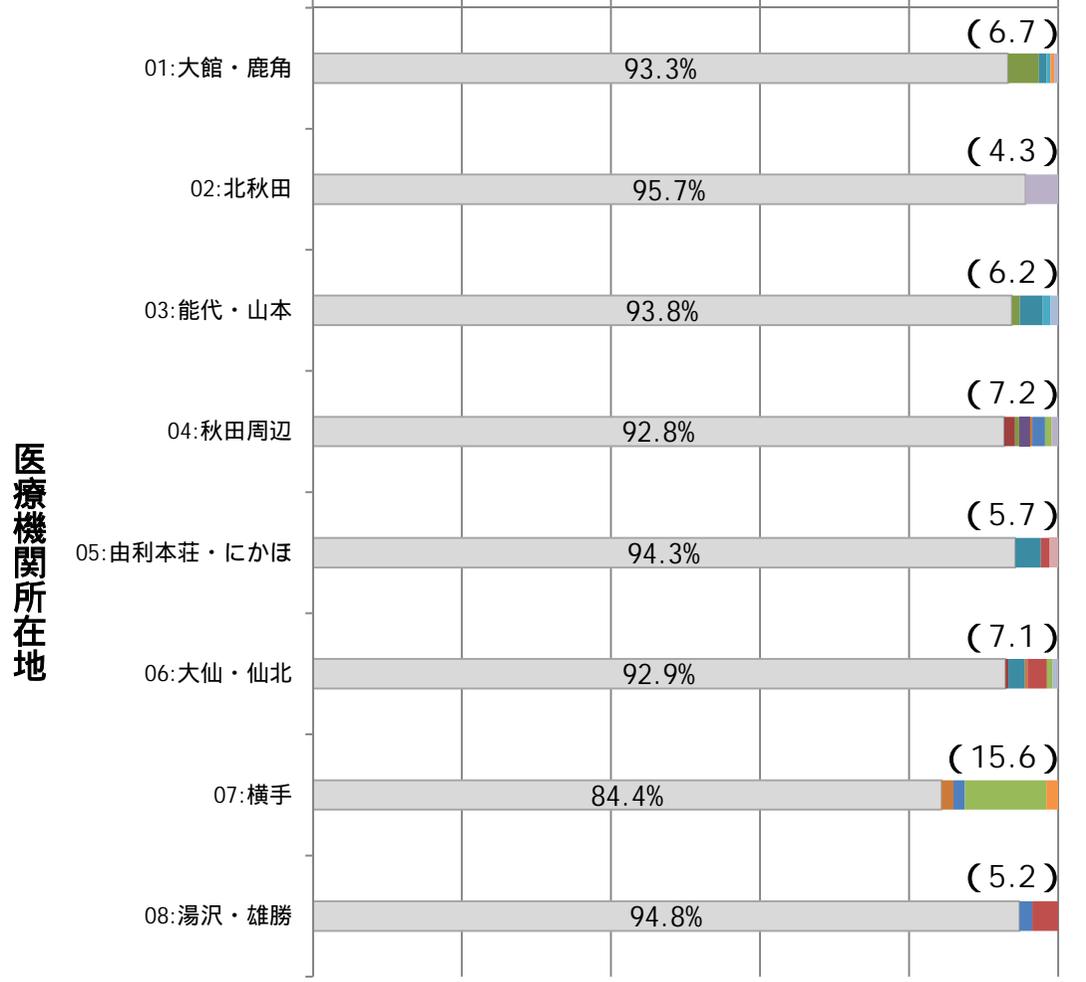


患者住所地

- 二次医療圏内
- 01:大館・鹿角
- 02:北秋田
- 03:能代・山本
- 04:秋田周辺
- 05:由利本荘・にかほ
- 06:大仙・仙北
- 07:横手
- 08:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

脳卒中（脳梗塞・くも膜下出血・脳内出血）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



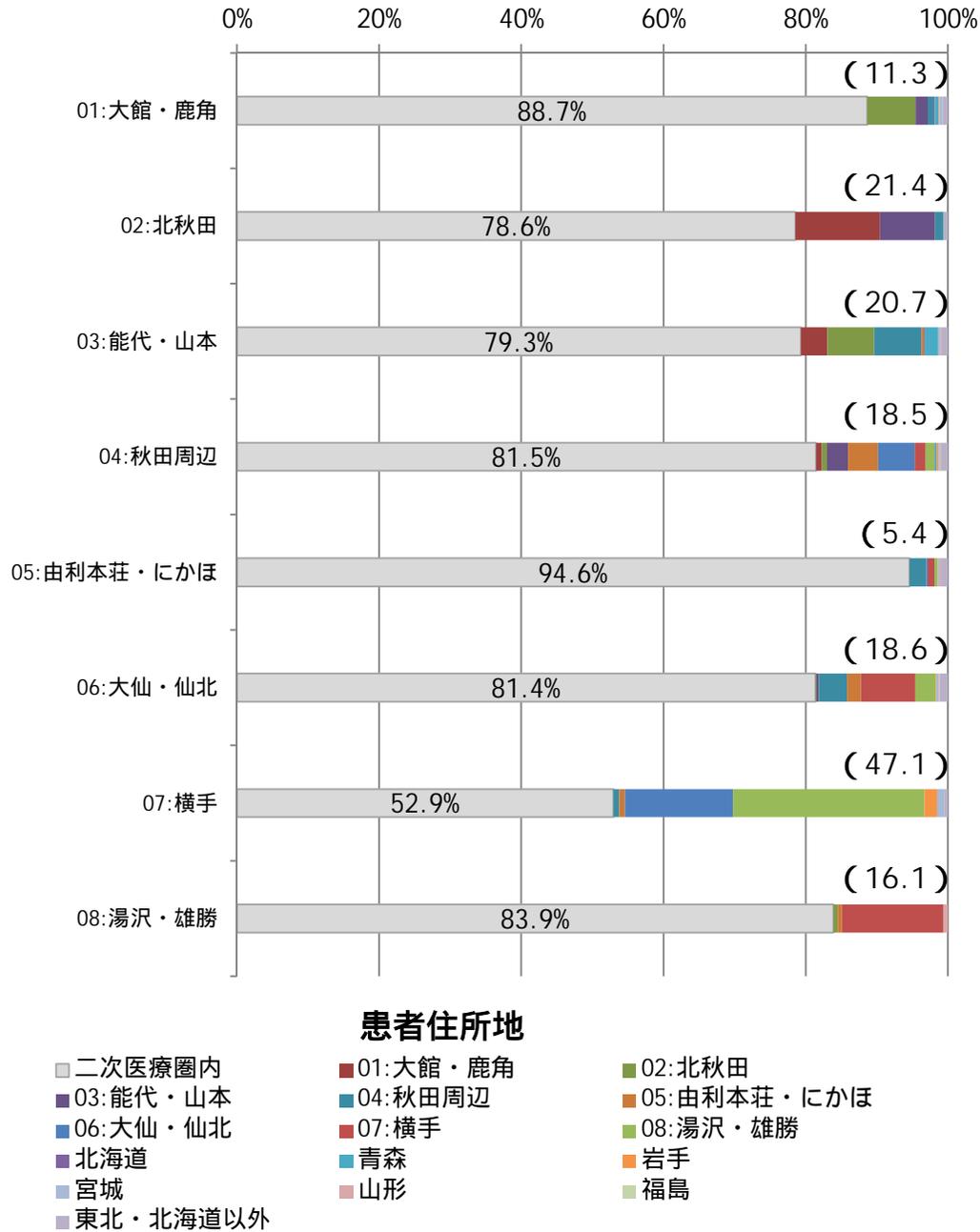
患者住所地

- 二次医療圏内
- 01:大館・鹿角
- 02:北秋田
- 03:能代・山本
- 04:秋田周辺
- 05:由利本荘・にかほ
- 06:大仙・仙北
- 07:横手
- 08:湯沢・雄勝
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 山形
- 福島
- 東北・北海道以外

二次医療圏別、疾病別 患者流入割合（入院外）

精神疾患

医療機関所在地



鳥取支部

1. これまでの鳥取支部の取組み

(1) 鳥取支部が掲げた運営方針・目標

運営方針

「加入者＝県民の利益」の視点で、

鳥取県内の関係機関と協働・連携した健康づくり事業の取り組みを指向する。

支部目標

●データヘルス計画を通じ、職域・地域一体となって健康づくり事業を推進する。

・職域では、鳥取県との連携事業「健康経営マイレージ事業」を推進。健康経営に参画する事業所を増やし、健康づくりメニューを提案することで、健(検)診受診、特定保健指導など加入者の健康づくりに取り組む事業所を増やす。

・地域では、以下3点について、各市町と連携して事業に取り組む。

①特定健診・がん検診の受診率向上。

②双方の医療費及び健診結果を共有・分析し、健康課題の抽出と対策を立案・実施。

③成功事例・ノウハウを関係機関全体で共有し、事業に活かす。

●県内保険者の中核として、医療計画や地域医療構想の策定に積極的な役割を担っていく。

(2) 目標達成のため、平成26年度に関係機関と取り組んだ事業

①鳥取県

- ・鳥取県民の健康づくりに向けた包括協定締結
- ・事業所とのコラボ事業である「健康経営マイレージ事業」などの実施

②鳥取県19市町村の内14市町

- ・地域住民の健康づくりに向けた包括協定締結
- ・特定健診・がん検診の受診率向上策の実施
 集団健診会場における「肌年齢測定」、「骨密度測定」などの無料オプション健診
 健(検)診受診率向上のための共同広報
- ・医療費・健診結果等の共同分析など

③鳥取県国民健康保険団体連合会

- ・鳥取県民の健康づくりに向けた包括協定締結
- ・医療費・健診結果等の共同分析など

④鳥取大学

- ・協会けんぽの医療費等の共同分析及び事業支援

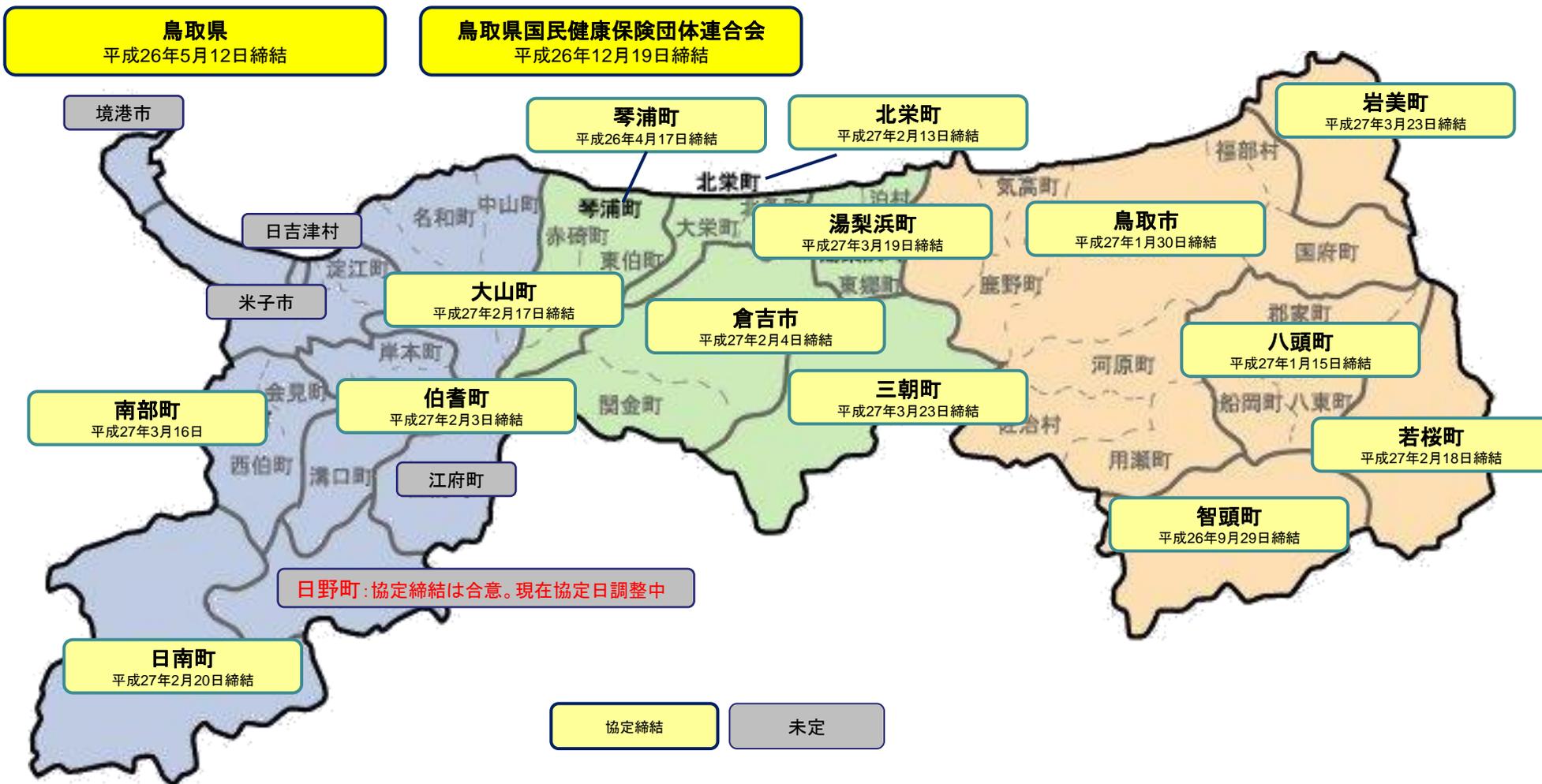
⑤労働局、産業保健総合支援センター

- ・職域の健康づくり事業の連携

(3) 平成26年度の協会けんぽ鳥取支部と関係機関との協定状況

※平成27年5月11日現在

平成26年度は、鳥取県、鳥取県国民健康保険団体連合会、鳥取県内19市町村の内14市町と健康づくりに関する包括協定を締結。これにより、東部、中部の2次医療圏ではすべての市町が参画。
平成27年度は残り5市町村他関係機関と交渉予定。



2. 鳥取支部と関係機関との連携状況と今後の取組み

(1)【鳥取県】健康経営マイレージ事業

●鳥取県・協会けんぽ連名の「健康づくり宣言認定証」を発行

平成27年4月現在 **431**事業所が宣言
宣言事業所には、対外的なアピール用に「**健康経営宣言専用ロゴ**」を提供
平成27年度は、**700**事業所の宣言が目標

●「企業健康度カルテ」を発行

- ・医療費、健診結果等の分析から、事業所の健康度を12項目に分け、レーダーチャート式で、事業所の健康状態が一目でわかるように作成
- ・鳥取県の平均、同業種との平均と比較が可能
- ・過去3年分のデータと比較が可能

●「健康経営通信」を発行(年に4回程度)

健康経営に関する最新の情報、事業所独自の取り組みを取材・参考事例として掲載

●「健康づくりメニュー」をご提案

健診受診、特定保健指導実施、研修会の参加、健康づくり施設への登録など15種類以上のメニューを提案
関係機関との連携によって随時メニューを追加予定

●鳥取県知事、協会けんぽ鳥取支部長による表彰制を実施

健康づくりメニューはポイント化し、年間でポイント獲得数の多い事業所には**支部長表彰**
他の事業所の参考になるような優れた取組には**鳥取県知事表彰**

【健康経営通信】 ※現在、5号まで発行

健康経営通信

第2号 平成26年9月

『社員の健康づくり宣言認定証』を飾られていますか？

- 社員の健康づくり宣言事業所権力増加中！ 8月31日現在、重要申請数は 社
- 健康寿命を延ばしましょう！ 大切なことは働き世代からの生活習慣の改善
- 会社経営の取組紹介
- 企業の健康経営を考えるトップセミナー
- 中間発表！マイレージポイント上位事業所様

全国健康保険協会 鳥取支部 協会けんぽ

〒680-0800 鳥取市東町2-2-1 電話/0857-25-0001

鳥取県健康治療費助成事業のご案内 鳥取県は「禁煙したい方を応援します」

鳥取県では、禁煙効果が低いなどの理由により、禁煙治療に医療保険が適用されない方のため、県独自に「禁煙治療費助成制度」を整えています。ぜひ、お試みください！

禁煙治療費助成制度	
対象者	県内に住所があり、禁煙治療費が2,000未満で、禁煙治療を終了した方 ※1日1回以上の半喫煙者
対象医療機関	禁煙治療ができる県内の医療機関及び薬局
助成内容	禁煙治療の費用の7割相当額を助成（上限額あり）
申請手続き	申請書は、下記窓口が禁煙治療費申請書にあり、申請には、医療機関や薬局で発行された「領収書が必要」です。詳しくは下記の窓口へお問い合わせください。

申請窓口 問い合わせ先

鳥取県健康保険局 0857-22-5695（鳥取市江津7-10）
 中部総合医療センター 0859-23-2146（鳥取市東町2-2）
 西部総合医療センター 0859-31-9318（米子市米原一丁目1-45）
 ※医療について、鳥取県福祉保健部健康増進課健康助成課 0857-26-7203

有給休暇を取れていますか？

●有給休暇取得率の低付化

昨年の10月頃から顕著になっている「企業に対する従業員の有給休暇取得率の低付化」が深刻化しています。日本の有給休暇取得率は企業と比べて低く、有給休暇取得率の低付化は、ワークライフバランス（仕事と生活の両立）実現を図るために検討されています。健康経営に関係なく、2016年4月から開始される見通しです。

厚生労働省は2020年までに有給休暇の平均取得率70%を目指していますが、平成25年調査によると、平均取得率は、48.9%という結果が出ています。また、有給休暇を取れない理由は「職場への復帰」が多いことがわかりました。

年度別平均有給休暇取得率の推移

「禁煙治療費助成ガイドライン」活用がポイント

それでは今年でも、28日の「禁煙づくりの取組月間」をきっかけに、禁煙治療費助成制度を活用して禁煙治療を受けたい方を応援します。ぜひ、お試みください！

智頭急行株式会社様の健康づくりの取組みをご紹介します！

企業概要

所在地	八尾町豊後町2-1
電話	0854-75-4000
業種	運輸業
加入者数	79名（30代17名）

健康づくりの取組み

- 外部講師による社内研修実施

年に1回、内部講師を招いて社内研修を行っています。今年度は7月20日から21日の間で、鳥取県中企業労働健康対策「みなくる」から講師を派遣していただき、「メンタルヘルスの意識向上」をテーマにした研修を受けました。参加者等も積極的に質問して、社員の約90%が研修に参加しました。

アンケート形式の研修を受けるのは初めてでしたが、参加した社員からは、「講師の話がわかりやすい」「もっと時間があつたら良かった」「もう少し聞きたかった」などの声があり、良い機会となりました。
- 進めていく会社対策

事業所の喫煙場所、事務所控室内喫煙場所の設置に賛同しました。喫煙カウンターも設置し、初めは社員に対する影響が軽減しています。
- 健康診断は全員受診

定期健康診断は社員全員が受診し、結果を管理しています。健診結果で、再検査が必要な社員がいた場合は、各部署の管理職に結果を伝えて管理職から再検査を受けています。また、健診結果を健康項目ごとに集計し、会社の傾向を分析し、労働安全衛生委員会にて公表して社員への健康づくりを行っています。

～智頭急行株式会社様の健康経営推進活動からのご紹介～

禁煙、日々の安全管理、健康管理は欠かせません。社員内での意思決定の集約が一層、特に事業の運転士の方で、東部インフルエンザ等の流行時には、社内感染予防対策など積極的に取り組んでいます。社員の健康管理の意識を高めていくために、今後も声かけなどを続けていきたいです。

(2)【鳥取県・鳥取労働局】健康保険担当者研修会

主催／協会けんぽ、鳥取県 共催／労働局（本年度で3回目の開催）

会場／鳥取県を東部、中部、西部の3会場に分けて開催（例年約400名の参加）

対象／事業所の健康保険担当者（主に健康保険委員）

【平成27年度の研修内容】

- ▶鳥取大学：尾崎米厚教授 基調講演
「健診と医療費」
- ▶協会けんぽ
「従業員と家族の健康づくり」
- ▶鳥取労働局
「ストレスチェック制度」
- ▶鳥取県
「健康経営マイレージ事業」
「マイナンバー制度」

【鳥取支部の健康保険委員（平成27年1月現在）】

鳥取支部適用事業所8,934事業所中
1,556人委嘱

事業所委嘱率 **17.4%** ※全支部中トップ
 加入者ベースの委嘱率 **58.4%**

健康経営マイレージ事業のポイント対象

聞いてなるほど！明日、会社で話したくなる情報満載

健康保険担当者研修会

参加費 無料

主催 全国健康保険協会鳥取支部 鳥取県 共催 鳥取労働局

中部会場

7月7日(水)

倉吉未来中心
小ホール
倉吉市駄経寺町212-5

西部会場

7月14日(水)

米子コンベンションセンター
国際会議室
米子市末広町294

東部会場

7月23日(木)

とりぎん文化会館
小ホール
鳥取市尚徳町101-5

3会場とも 13:30～16:30 (13:00開場)

プログラム

13:00～ 受付

13:30～ 開会

13:40～ 基調講演
鳥取大学医学部 療養予防医学分野
教授 尾崎 米厚

◆ 健診と医療費 ◆

協会けんぽが実施している「生活習慣病予防健診」を事業所に導入することで、医療費がどれだけ変化するかを分析した結果をご紹介します。

14:25～ 協会けんぽ
◆ 従業員と家族の健康づくり ◆

従業員の皆様が安心して仕事に取り組めるのは、そのご家族が健康であればこそ。事業所の担当者にもできます。そんな例を健康保険の実務を交えながらご紹介します。

14:50～ 休憩

15:00～ 鳥取労働局
◆ ストレスチェック制度 ◆

いよいよ12月1日から実施されるストレスチェック制度。準備はできていますか？これからの会社運営ではメンタルヘルスマスクは欠かせません。メンタル不調の未然防止のために導入を御検討ください。

15:25～ 鳥取県
◆ 健康経営マイレージ事業 ◆

事業所が行う社員の健康づくりの取組を応援する事業をご紹介します。

◆ マイナンバー制度 ◆

民間事業者の皆さまもマイナンバーを取扱うことをご存じですか？平成28年1月以降健康保険や厚生年金、源泉徴収の手続き等で従業員等のマイナンバーを記載する必要があります。事業所では何をすればいいのかわからないのか？この機会に習得しましょう。

16:30 閉会

(3)【鳥取県】 ウェアラブル端末を活用した特定保健指導の効果検証事業

時期：平成27年8月頃開始予定

対象：協会けんぽ加入者の内、特定保健指導対象者(30名程度) ※市町村国保もモデル地区を設定し実施

連携機関：鳥取大学医学部、鳥取短期大学

内容：ウェアラブル端末、塩分計、体組成計、血圧計などを特定保健指導対象者に貸与し、健康状況を「見える化」することで、どのような行動変容が見られ、どの程度改善効果があるのかを検証するもの。特定保健指導のパターンの一つとして実施するが、連携機関と評価チームを構成し、通常の特定保健指導と効果性を比較・検証することで、今後の普及のあり方について模索する事を目的とする。

(4)【鳥取県】 事業主対象 企業の健康経営を考えるトップセミナー

時期：平成27年10月開催予定 (本年2回目の開催)

対象：事業主

内容：マイレージポイント・取組度による

「支部長表彰」

「鳥取県知事表彰」

表彰事業所による事例紹介

全国の先進事例事業所による講演

今、社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む「健康経営」という企業経営スタイルに注目が集まっています！

企業の健康経営を考えるトップセミナー

マイレージポイント
15P加算

プログラム

1. 主催者挨拶
2. 鳥取県行政説明「健康経営とは」
3. 基調講演／「健康経営」の先進企業による取組紹介
「健康づくりは人材づくり」
～花王における「健康経営」への取組～
講師：花王株式会社人材開発部門 前健康開発推進部長 兼 花王健康保険組合 前常務理事 豊澤 敏昭氏
4. 鳥取県の健康経営推進の事業紹介



講師 豊澤 敏昭氏

<平成26年10月のチラシ抜粋>

(5) 【鳥取県・鳥取労働局・全市町村・鳥取県国民健康保険団体連合会・鳥取県医師国民健康保険組合】
連名による鳥取県統一の「健(検)診受診啓発ポスター」の作成・配付

【課題】

- ・従来の健診受診啓発のポスターは、各保険者・関係機関が個別に作成・配布。
⇒作成労力の負担
⇒割高な作成経費
- ・配付先の事業所、医療機関などにはデザイン違いで同内容のポスターが複数掲示される。
⇒県民への発信力・訴求力不足
- ・後発で配付したポスターは掲示されない。
⇒労力・経費の無駄

【実施のきっかけ】

協会けんぽが関係機関と連携事業を進める中で、課題解決のため、鳥取県で統一したイメージ展開することを主体となって働き掛け、賛同を得る。

【特徴】

鳥取県、鳥取労働局、鳥取県国民健康保険団体連合会、鳥取県内市町村、医師国保の協力による、地域、職域、保険者の垣根を越えた前述の課題を解決したもの。

【展開状況】

5月上旬から、各市町村、鳥取県など関係機関、医療機関、協会けんぽの適用事業所約10,000件に配付。
鳥取県の協力により、ファミリーマートなど商業施設にも掲示を予定。



(6)【連携14市町】 連携事業取組予定

●特定健診とがん検診の「同時受診案内チラシ」の共同作成・配布

今まで健診に関心のなかった層、受診していなかった層に少しでも「健(検)診」が目につける事を目的として、市町の集団健診等に併せ、情報・イベントを掲載したチラシを共同で作成・配付。また、地域の実情に併せ、各加入者へのダイレクトメール、町報折込、健康推進委員の個別訪問、日本海新聞(鳥取県内世帯普及率75%)への折込など多様に配付。

●集団健診会場において、「無料オプション健診」の実施

本年度は、14市町と計27回の実施を計画。(前年は連携していた琴浦町、智頭町の2町で計5回実施。)
本年は、協定を締結した鳥取県国民健康保険団体連合会も参加。
無料オプション健診項目／肌年齢、肺活量、足指力、骨密度、血管年齢など

●地域・職域を合わせた「健(検)診リーフレット」の共同作成・配付

地域住民が、自分がどの保険者に属し、どの健(検)診を受けたらいいのか、一目でわかるように、市町ごとに共同作成。受診券配付時や再勧奨時に配付。

●地域・職域を合わせた健診受診率の集計と対策

協会けんぽと各市町の特定健診とがん検診の受診状況を、年代別・性別に合算した「健(検)診受診率表」を作成。受診勧奨対象者の抽出や目標対受診状況の検証などに活用する。

●地域・職域を合わせた医療費・健診結果等を集計、健康課題の抽出及び対策の実施

協会けんぽ・市町村国保・後期高齢の医療費と健診結果を共有・分析することで各市町の健康課題を抽出し、対策を立案・実施する。(医療費では約75%、健診結果では協会けんぽと市町村国保で対象者の約35%を掌握できる。)

14市町連携事業:資料①

【市町別 集団健診(特定健診・がん検診)受診案内チラシ】

※連携した14市町別に、合計約40パターン作成・配付予定

<日野町チラシサンプル>

<琴浦町チラシサンプル>

<智頭町チラシサンプル>

【肌年齢、骨密度等無料オプションナル健診】

平成27年度は連携した14市町において年間27回実施予定。協会けんぽ職員、鳥取県国民健康保険団体連合会職員により、肌年齢、肺活量、骨密度、足指力、血管年齢などを無料で測定。



<平成26年度の実施風景>

14市町連携事業：資料③

【地域・職域を合わせた健(検)診リーフレット】

平成27年度は連携した14市町分を作成。

平成28年度版は、市町村別の医療費・健診結果等の分析結果を掲載し、より身近に感じられるリーフレットを目指す。

<大山町リーフレット抜粋>

項目	特定健診	がん検診	その他	大山町重点健診	高齢者対象健康診断	左記以外の大山市民
対象者	生活習慣病予防対象者 (20歳～)	特定健診 (40歳～)	その他 (20歳～)	特定健診 (40歳～)	健康診断 (65歳～)	左記以外の大山市民 (20歳～)
費用	500円 1,040円 1,680円 (収入に応じて減額)	500円	加入している健康保険に お申し付けください。	500円	500円	500円
受診項目	健康保険証 ※健康保険証がない場合は、 お申し込みの際に提出してください。	健康保険証 受診券	健康保険証 受診券	健康保険証 受診券	健康診断 受診券	健康診断 受診券
受診内容	診察等、身体計測、 血圧測定、尿検査、 尿糖検査、尿蛋白検査、 血糖検査、 心電図検査、 胸部レントゲン検査、 腹部レントゲン検査	診察等、尿検査、 身体計測、血圧測定、 血球検査、尿検査	診察等、尿検査、 身体計測、血圧測定、 血球検査、尿検査	診察等、尿検査、 身体計測、血圧測定、 血球検査、尿検査	診察等、尿検査、 身体計測、血圧測定、 血球検査、尿検査	診察等、尿検査、 身体計測、血圧測定、 血球検査、尿検査
申込方法	お申し込みは、お住まいの市町村の健康保険課へお申し込みください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。
お問い合わせ先	大山町健康保険課 0859-54-5206	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。	加入している健康保険に お申し付けください。

14市町連携事業:資料④

【地域・職域を合わせた健診受診率の集計】

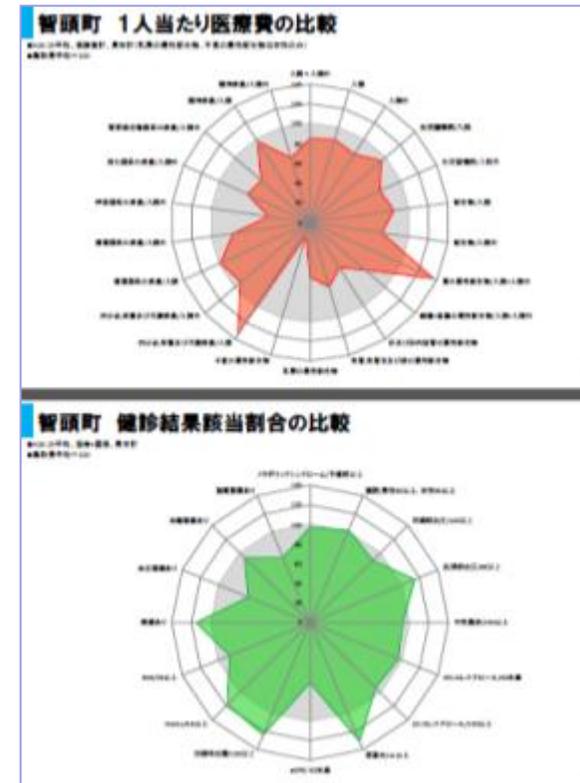
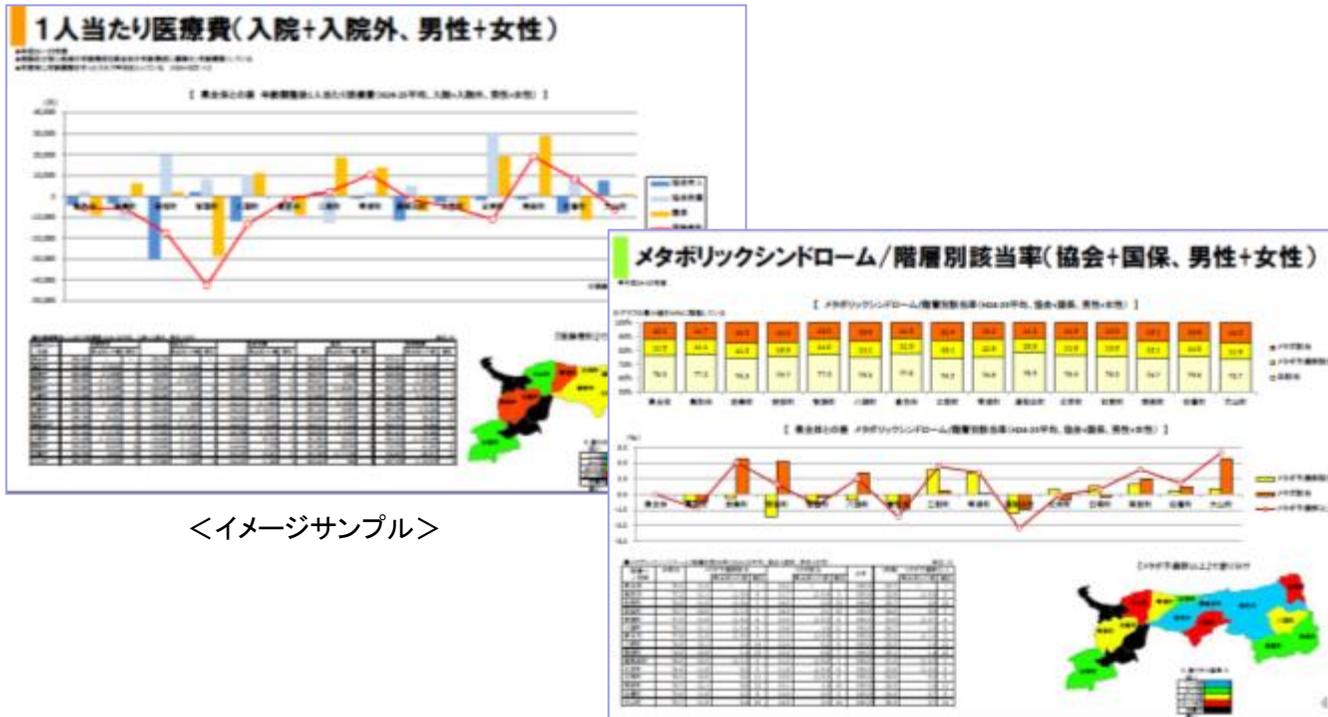
平成27年度は連携した14市町分を作成。

特定健診、胃、大腸、肺、乳、子宮の6項目を集計し、受診勧奨・効果検証に使用。

		対象者数(加入者数)			受診者数			受診率			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
胃がん	市町 協会 合計	40～49	219	215	434	95	102	197	43.4	47.4	45.4
		50～59	388	333	721	153	165	318	39.4	49.5	44.1
		60～69	453	487	940	149	206	355	32.9	42.3	37.8
		70～74	221	291	512	55	83	138	24.9	28.5	27.0
		75～79	234	359	593	43	66	109	18.4	18.4	18.4
		80～	308	677	985	35	53	88	11.4	7.8	8.9
		計	1,823	2,362	4,185	530	675	1,205	29.1	28.6	28.8
	市町	40～49	62	56	118	16	27	43	25.8	48.2	36.4
		50～59	153	138	291	53	64	117	34.6	46.4	40.2
		60～69	340	431	771	103	177	280	30.3	41.1	36.3
		70～74	217	288	505	54	83	137	24.9	28.8	27.1
		75～79	234	359	593	43	66	109	18.4	18.4	18.4
		80～	308	677	985	35	53	88	11.4	7.8	8.9
計		1,314	1,949	3,263	304	470	774	23.1	24.1	23.7	
協会	40～49	157	159	316	79	75	154	50.3	47.2	48.7	
	50～59	235	195	430	100	101	201	42.6	51.8	46.7	
	60～69	113	56	169	46	29	75	40.7	51.8	44.4	
	70～74	4	3	7	1	0	1	25.0	0.0	14.3	
	計	509	413	922	226	205	431	44.4	49.6	46.7	

<イメージサンプル>

【地域・職域を合わせた医療費・健診結果等の集計及び分析】



平成27年度は、連携した14市町毎に健康課題を抽出し、対策を立案する。⇒共同データヘルス計画の作成
 平成28年度は、連携した14市町毎に立案した対策を実施予定。
 分析と対策立案には、鳥取大学:谷口晋一教授・尾崎米厚教授のアドバイスをいただく予定。
 分析結果は鳥取県や医療機関など県内関係者などに情報提供するとともに、
 協働事業の呼びかけなど健康づくり事業に活かす。

14市町連携事業:資料⑥

【平成26年度 市町村別特定健診受診率状況】

平成27年3月末現在
(単位:人)

	被扶養者 総数	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町
協会けんぽ	21,547	6,967	5,478	1,764	1,427	376	169	291	764	285	657	677	608	128	649	448	456	155	141	107
受診者数	3,192	1,037	786	199	141	44	33	45	185	34	99	159	101	19	84	79	72	26	5	44
本年受診率	<u>14.8%</u>	<u>14.9%</u>	<u>14.3%</u>	<u>11.3%</u>	<u>9.9%</u>	<u>11.7%</u>	<u>19.5%</u>	<u>15.5%</u>	<u>24.2%</u>	<u>11.9%</u>	<u>15.1%</u>	<u>23.5%</u>	<u>16.6%</u>	<u>14.8%</u>	<u>12.9%</u>	<u>17.6%</u>	<u>15.8%</u>	<u>16.8%</u>	<u>3.5%</u>	<u>41.1%</u>
本年順位		11	13	17	18	16	4	9	2	15	10	3	7	12	14	5	8	6	19	1
増率	1.3%	3.0%	-0.7%	-0.3%	1.7%	-2.1%	11.4%	7.0%	0.1%	2.4%	2.3%	5.5%	2.7%	-4.1%	1.1%	-2.0%	-2.8%	-4.2%	-2.1%	1.7%
増率順位		4	13	12	9	16	1	2	11	6	7	3	5	18	10	14	17	19	15	8
前年受診率	<u>13.5%</u>	<u>11.9%</u>	<u>15.0%</u>	<u>11.6%</u>	<u>8.2%</u>	<u>13.8%</u>	<u>8.1%</u>	<u>8.5%</u>	<u>24.1%</u>	<u>9.5%</u>	<u>12.8%</u>	<u>18.0%</u>	<u>13.9%</u>	<u>18.9%</u>	<u>11.8%</u>	<u>19.6%</u>	<u>18.6%</u>	<u>21.0%</u>	<u>5.6%</u>	<u>39.4%</u>
前年順位		12	8	14	17	10	18	16	2	15	11	7	9	5	13	4	6	3	19	1

平成26年度に連携事業を開始した琴浦町、智頭町では「特定健診」の受診率が増加し、増率も19市町村中上位となった。

琴浦町 18.0% ⇒ 23.5% (増率3位)

智頭町 8.5% ⇒ 15.5% (増率2位)

また、2町とも、無料オプション健診を実施した日においては、同時受診を進めた「がん検診」の受診率も大幅に増加した。

(7)【鳥取大学・鳥取県】 協会けんぽの医療費の共同分析

分析／協会けんぽ、鳥取大学：地域医療学 尾崎米厚教授 事業支援／鳥取県 ※県事業の一環として実施

内容／協会の「生活習慣病予防健診」を事業所に導入することで、医療費がどれだけ変化するかを分析。
 事業所を被保険者数に応じて大中小と三分類し、協会の「生活習慣病予防健診」を受診している加入者の医療費データだけでなく、「生活習慣病予防健診」を受診していない加入者の医療費データも比較して分析。



協会けんぽの被保険者の
健診受診状況と医療費の関係

生活習慣病 予防健診のすすめ

鳥取県と全国のがん医療費の占める割合と
生活習慣病予防健診受診率

項目	鳥取県	全国
がん医療費の割合	約25%	約20%
生活習慣病予防健診受診率	約10%	約15%

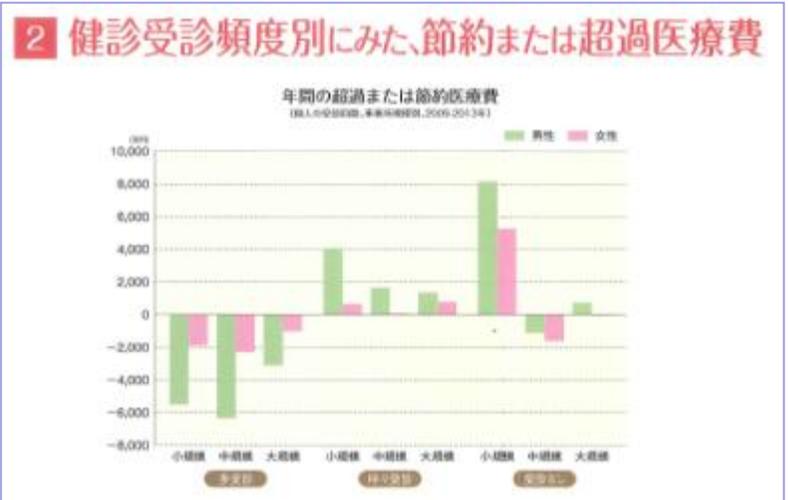
鳥取県は、入院医療費または外来医療費に対するがん医療費の割合が高く、健診受診率が低くなっています。
 1人当たり医療費は、鳥取県14万2,622円、全国14万4,927円とほぼ同等です。

鳥取大学医学部 環境予防医学分野



分析では、「生活習慣病予防健診」を受診していない事業所で、規模が小さくなればなるほど、医療費が高くなる傾向を確認

この分析結果は、事業所に配付するだけでなく、研修会などで発表し、健(検)診受診勧奨のツールとして利用する予定。



大分支部

一社一健康宣言事業

〔 データヘルス計画に基づく
階層化支援サービス 〕

一社一健康宣言事業の全体概要

背景・概要

中小企業（事業主）

小さい会社ほど生活習慣病予防健診受診率が低い
9人以下の企業28.8%
厳しい経営等により、健康増進にける余裕がない・・・

協会けんぽ

膨大な被保険者に対し、健康増進の対応に苦慮

国民の3人に1人が加入者
被保険者 2,031万人
企業数168万社
3/4が9人以下

協会けんぽ

コラボ

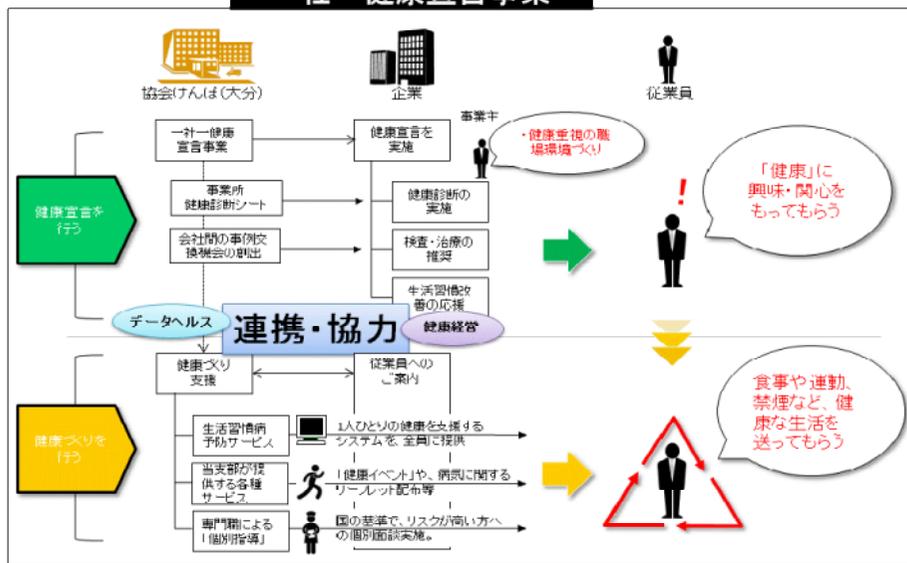
事業主

中小企業の健康増進の底上げ

事業概要

本事業は、従業員の健康増進に企業の役割が大きく影響があることを踏まえ、協会けんぽより「見える化」した健診データを提供することで、事業主・従業員の健康意識の改善、健康行動の変容の支援を行うとともに、中小企業の実態を踏まえた支援ツールの提供も行う。一方、中小企業においても健康企業宣言を行い、健康増進が可能となる職場環境づくりを行う。また、本事業は、「データヘルス」「健康経営」のエッセンスを取り入れることで、両者の弱みを補いあい、中小企業での健康増進の促進を図り、健康度向上を狙う。

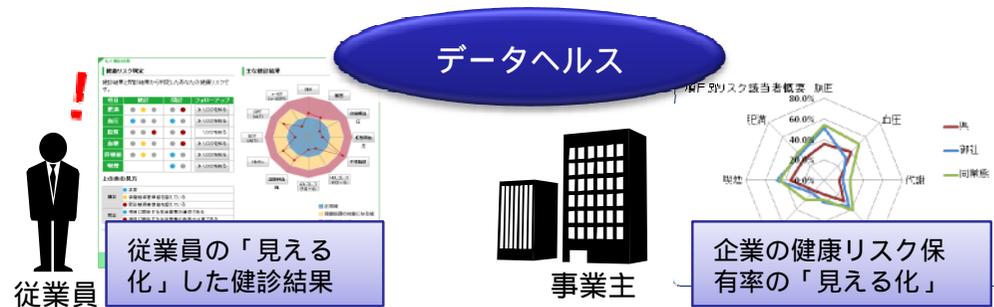
一社一健康宣言事業



本事業での実施内容

25年8月～本格勧奨開始
宣言企業数 365社（27.3末）
被保険者数 31,878名参加

健康意識の改善と健康行動が可能な健康づくり



事業主の健康推進宣言による健康重視の職場環境づくり

健康意識改善
健康行動変容
健康重視の職場環境づくり

事業主

健康推進宣言！
健康経営

中小企業の実態に合わせた取組み工夫

意見交換会



生活習慣病予防Web

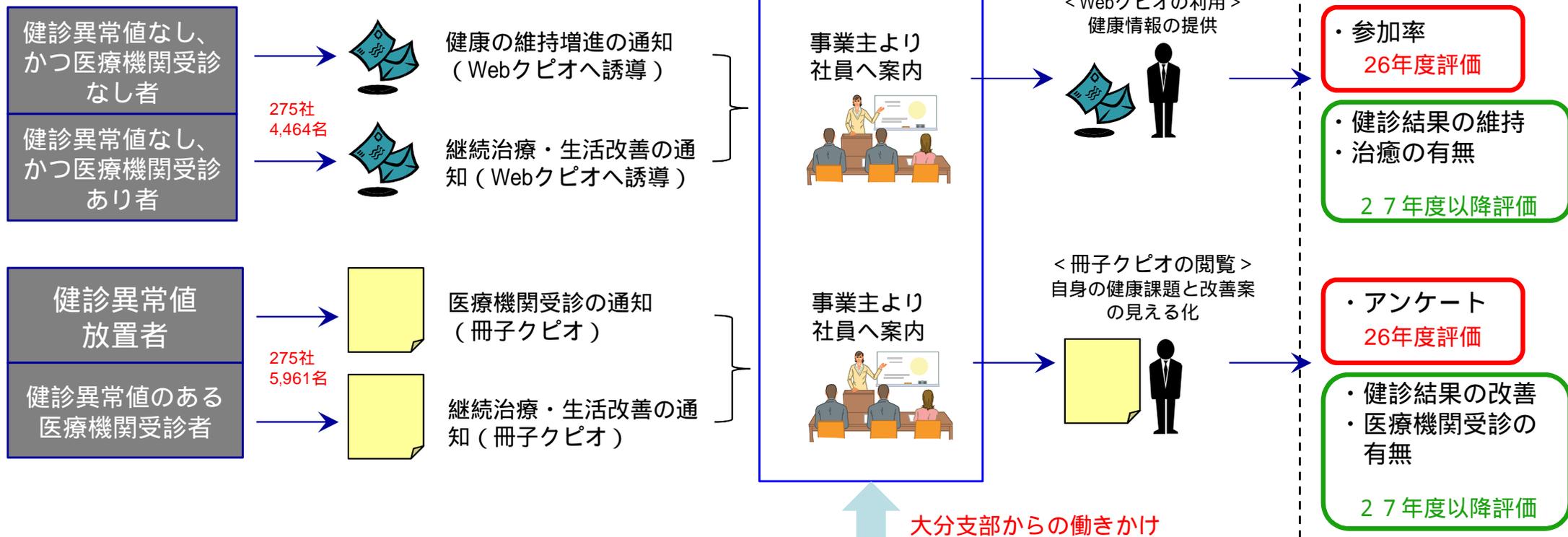


平成26年度追加サポート

従業員向けのポイントプログラム事業・・・「わくわく健康プラス」

当支部と連携した大分県の「健康経営事業所認定制度」

一社一健康宣言事業所に対する階層化支援サービス



大分支部による事業主、社員が働きたくなる環境整備

27年度継続実施
生活習慣改善Webクピオ
(個別化された健診情報等の提供)

27年度継続実施
事業所への健康経営認定
支援によるインセンティブ

ジャンプ → 県知事表彰

ステップ → 県知事認定

ホップ → 健康増進の取組み

社員への健康ポイント付与によるインセンティブ

市町村等（臼杵市・臼杵市医師会） との連携状況

〔 データヘルス計画に基づく
階層化支援サービス 〕

臼杵市の加入者に対する階層化支援サービス

<対象者層>

臼杵市在住の加入者

<対策>

生活習慣病治療中断者

62件

生活習慣病で受診履歴があり治療中断している方への医療機関受診勧奨等TEL支援

実施：合同会社カルナヘルスサポート（九州大学ベンチャー企業）

生活習慣病治療中者
998件

コントロール不良者

423件

健診結果なし者

575件

継続受診の促しと生活習慣改善等の通知を送付（アンケートあり）

継続受診の促しと特定健診等を紹介

特定保健指導対象者
99件

積極的支援
67件

動機づけ支援
32件

特定保健指導の参加案内を送付
主に、臼杵市医師会立市民健康管理センターをご案内（センターで受診していない方は結果持参）

非特保有所見者
361件

生活習慣改善等の通知を送付
アンケート回収あり（期限4/13）4月中は可

健診異常値放置者
48件

受診勧奨レベルにあるが未受診な方への医療機関受診勧奨等の電話支援実施

医療機関重複、頻回受診者

未実施

糖尿病重症化リスク者

（主に早期腎症期、顕性腎症期）
32件

糖尿病重症化予防プログラム

- ・臼杵市医師会との協定に基づく連携
- ・訪問（電話）や手紙による6ヶ月に渡る生活習慣等改善指導、かかりつけの医師への報告など 実施 合同会社カルナヘルスサポート（九大ベンチャー）